



その男、高慢女を

貪り尽くす

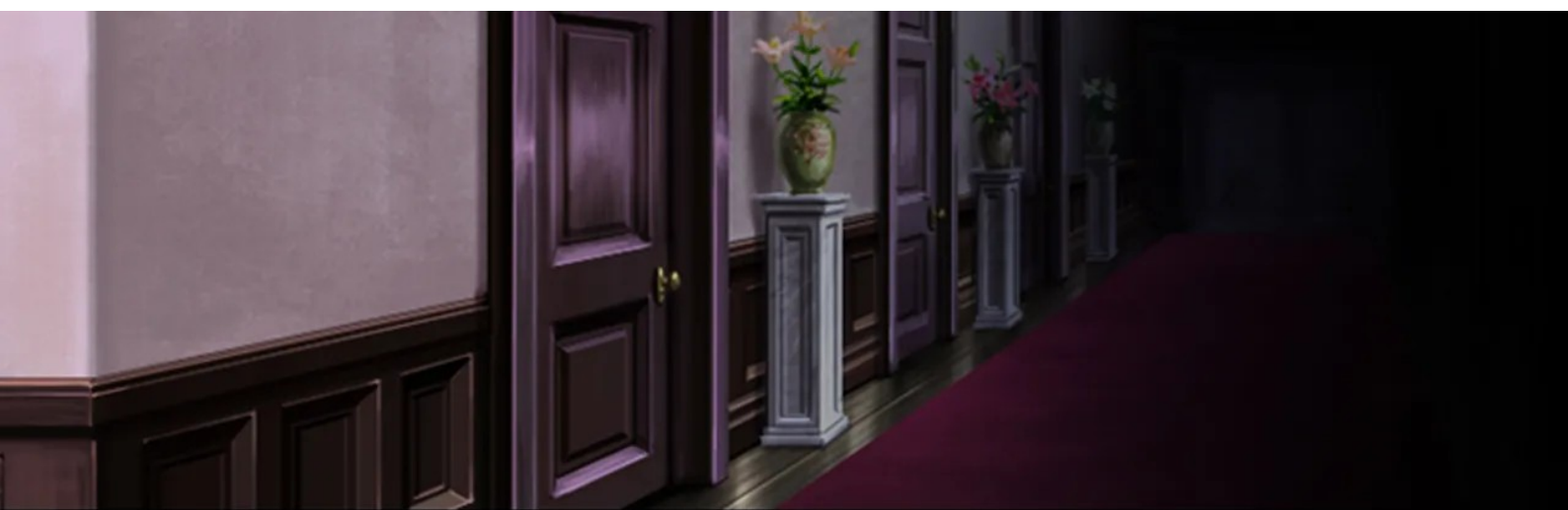
セブン令嬢に下剋上

フルカラー  
152ページ





- 第1話 -  
「社会の縮図」



私が見込んだだけはあるわ…

たぶん たぶん

たぶん たぶん



良いじゃない…  
貴方のオチ●ポ…

チュフ  
ヌチュ  
チュフ  
ヌチュ




彼女は滝川京子

日本有数の  
資産家の一人だ

かくいう俺は彼女とは  
相反していて——

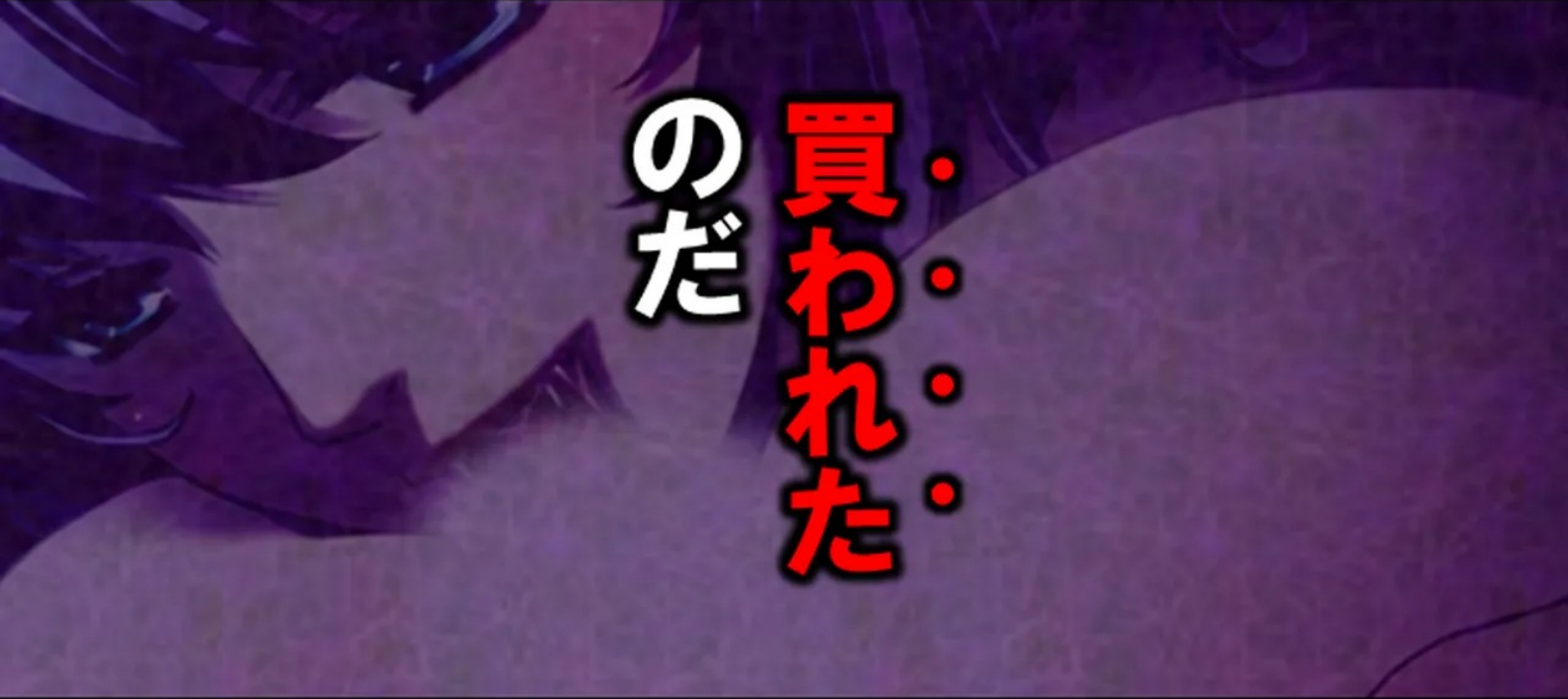
——つい先日会社で

大失敗を犯しクビを切られた

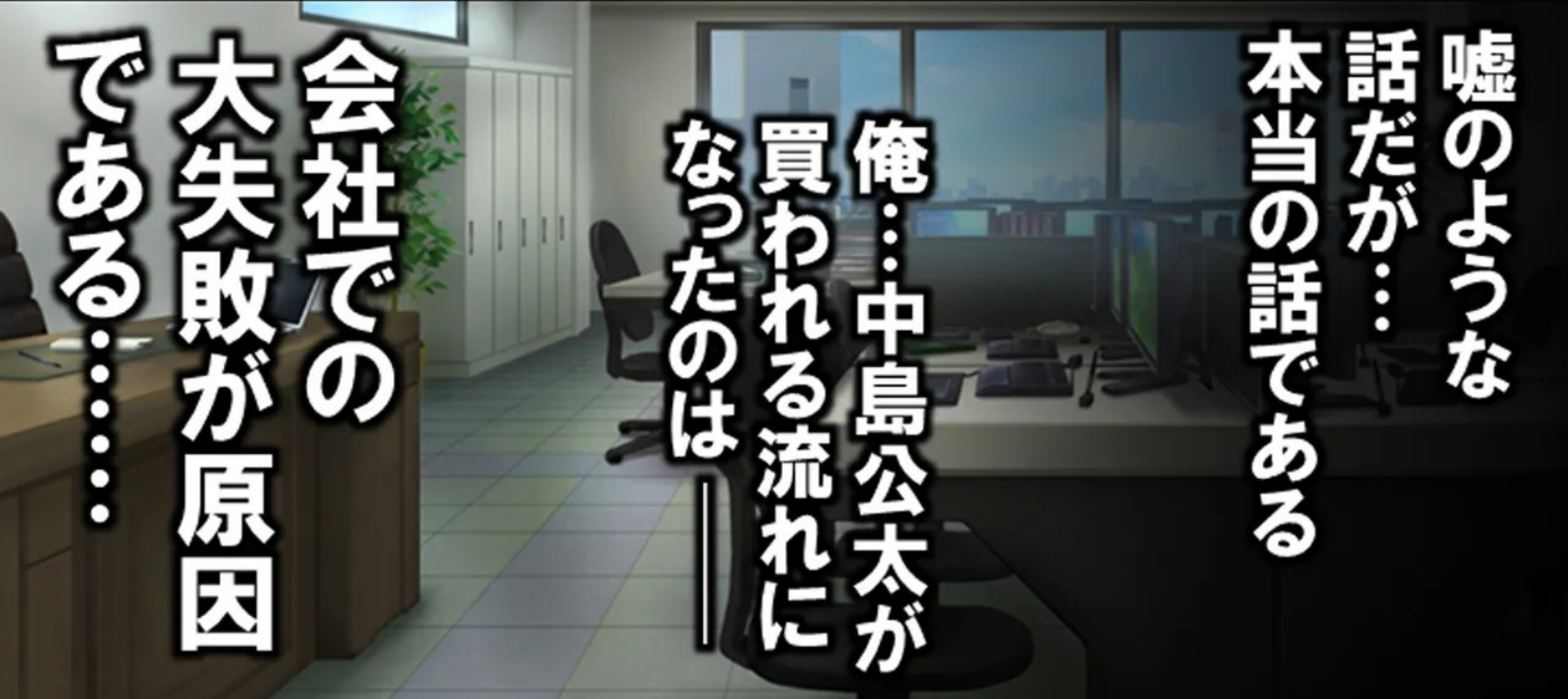


なぜ彼女が俺に  
パ●ズリをして  
いるのか  
というところ……

俺は  
彼女に――



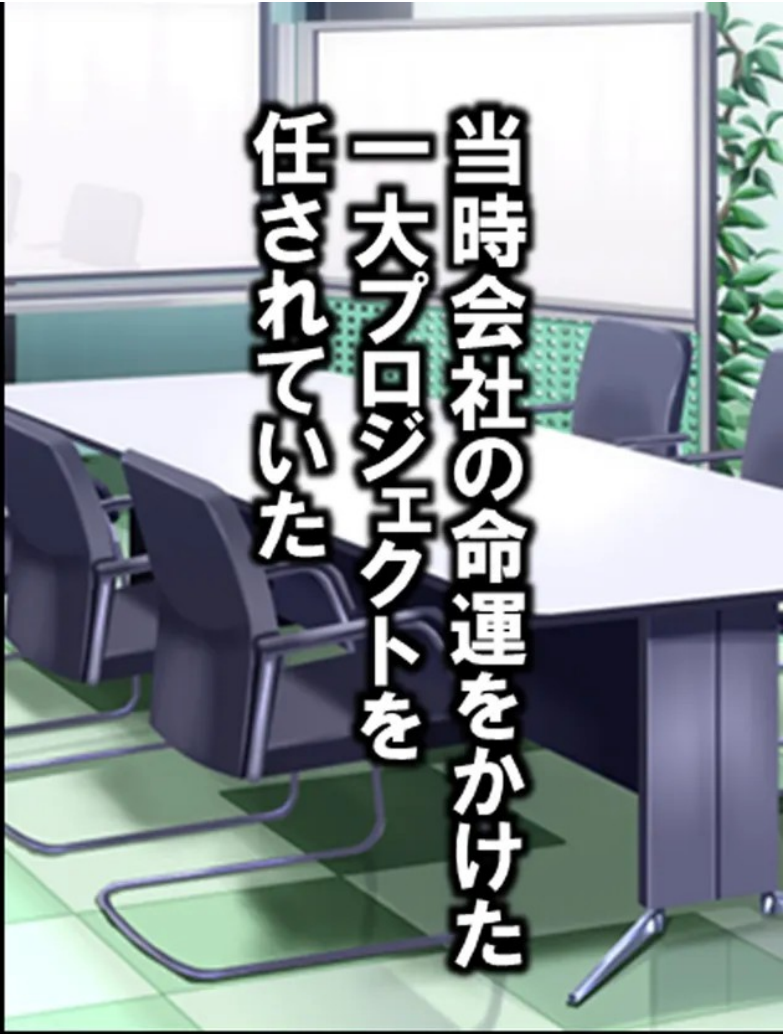
買われた  
のだ



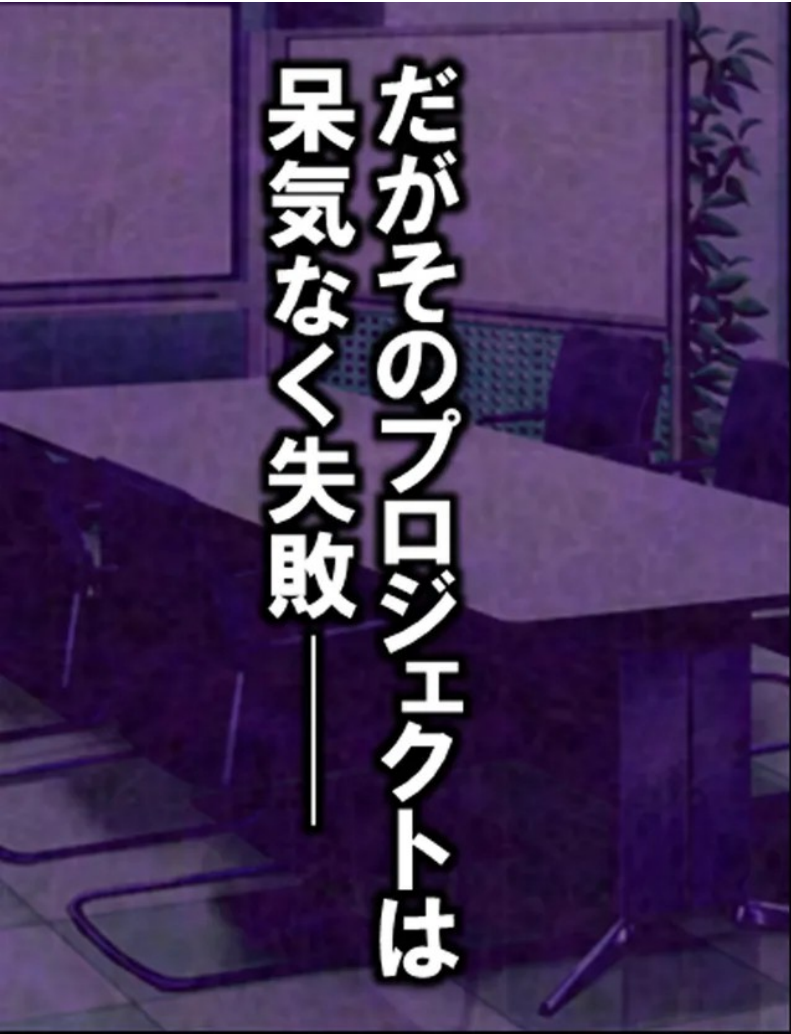
嘘のような  
話だが……  
本当の話である

俺……中島公太が  
買われる流れに  
なったのは――

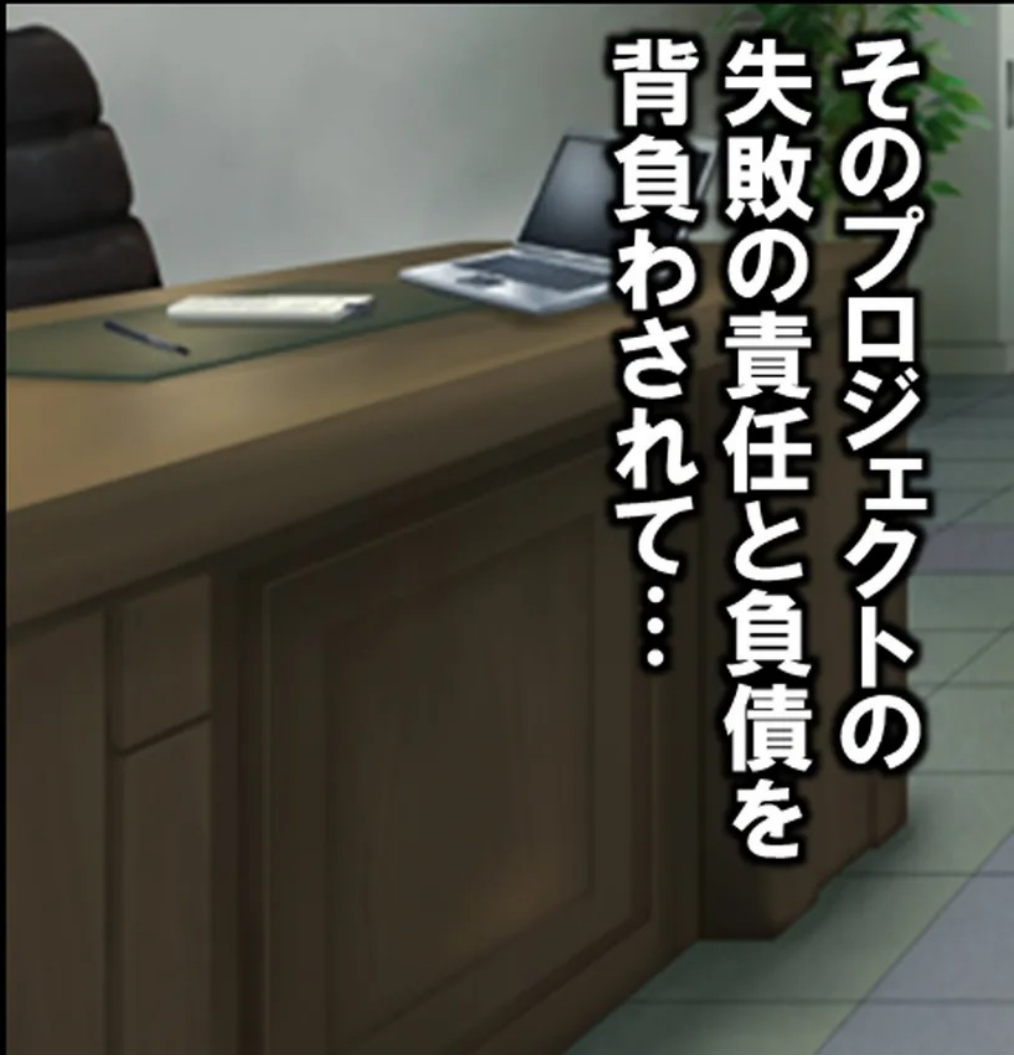
会社での  
大失敗が原因  
である……



当時会社の命運をかけた  
一大プロジェクトを  
任されていた



だがそのプロジェクトは  
呆気なく失敗――



そのプロジェクトの  
失敗の責任と負債を  
背負わされて……



一気に**最底辺**へと  
転落していった……

多額の借金…  
会社の評判で転職も  
絶望的…  
更に家賃滞納で住居も  
追い出され——

——後は  
自殺しかないか  
と思われた時……

滝川京子と出会った






貴方には  
もう人権はないわ

そのなんたらって  
名前ももうないわ…  
貴方は今から—



ただの  
肉奴隷よ！



それから俺の  
人生は…彼女に—

—  
買われた…

チュブ  
チュブ  
チュブ  
チュブ



私の許しなしで  
射精するのを禁ずるわ

え!?!? そんな!

ももう俺——

許可なくイッたら  
貴方はまた路傍の石

分かってるわよね?

私に逆らう事の  
重大さ

ほおら!

ほおら!

むにっ♡

むにっ♡

むにっ♡

むにっ♡

チュプ  
チュプ  
チュプ  
チュプ

むにっ♡

むにっ♡

むにっ♡

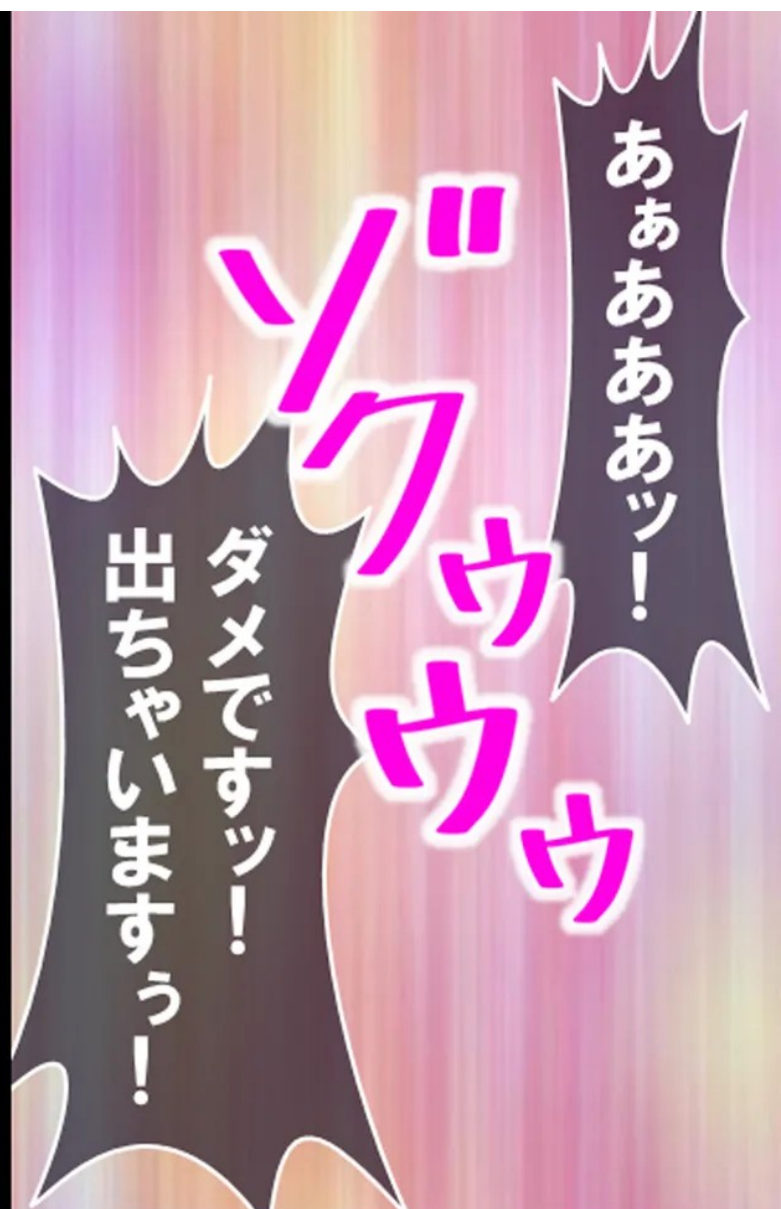
むにっ♡



少しづつけば  
地獄へ逆戻り……



最ツ高に



あああああッー!

ゾクウウウウ

ダメですッー!  
出ちやいますッー!



興奮するわッー!





うあッあぁあぁあぁ!

ぐ!!

ぐ!!

むにゅ♡

むにゅ♡

むにゅ♡

むにゅ♡

むにゅ♡

むにゅ♡

むにゅ♡

ぐ!!

ぐ!!



はああああ…

精液が溢れて  
噴水みたいに  
出てきてるぅ〜♪



でも私の言う事を  
聞かなかったわね…

捨てるは  
しないけど…

ペナルティを  
与えるわ

ふんふんふん...

こんな所で  
やった事  
あるのかしら？

はあああああ...

開放的で  
気持ち良いわ！

ほらほらあゝ  
入っていくわよあゝ

ムッ  
ムッ  
ムッ

ぬふ...  
ぬふ...  
ぬふ...

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ









本来一大  
プロジェクトを  
任せられる  
程の人間が

失敗一つで  
クビにされ  
借金まで  
背負わされる  
訳がない

そこには  
社長の私情が  
多分に  
含まれているのは  
明確だった……

俺には  
才能があつた——

女を  
喜ばせる  
才能が

社長の愛人を  
奪い…

更に妻すら

寝取り…

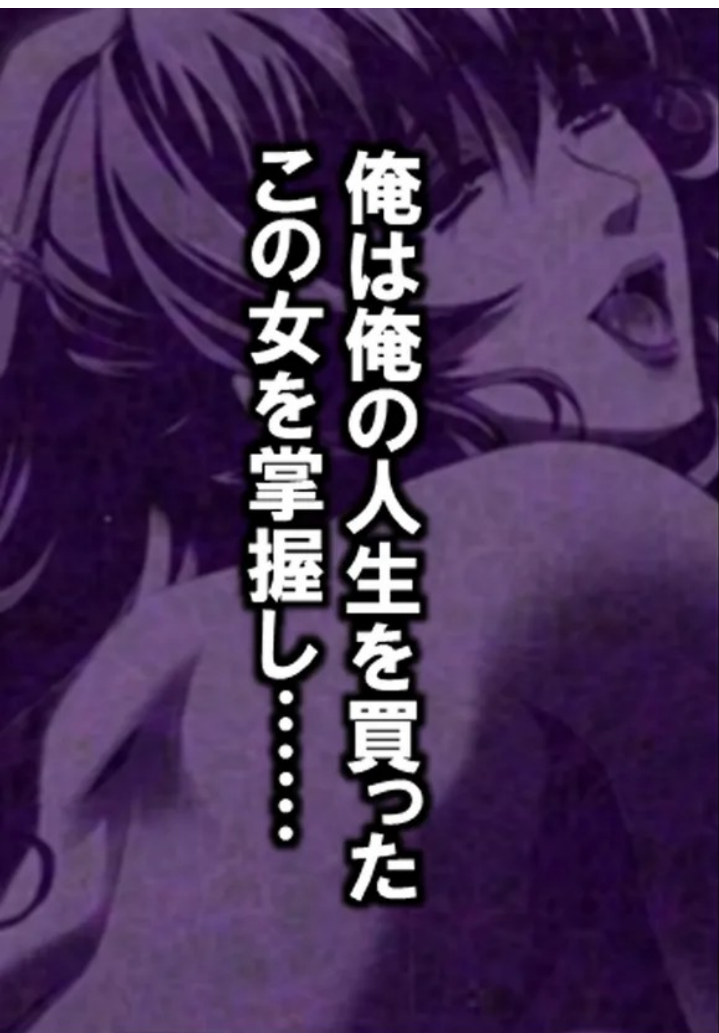
俺は  
成り上がった——

それが気に  
食わなかった  
社長の意図で

俺は  
貶められたのだ！

俺は  
ならば——





俺は俺の人生を買った  
この女を掌握し……



くるッ！

うそー！？

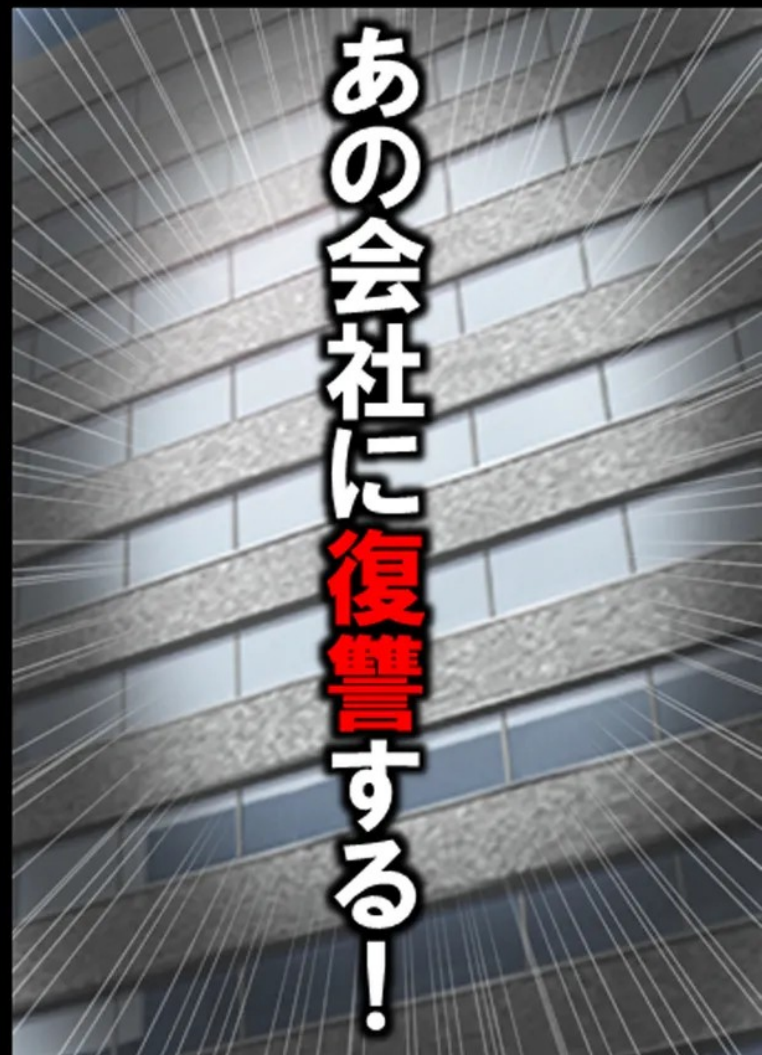
あっー！？

キచ్చャうっ！

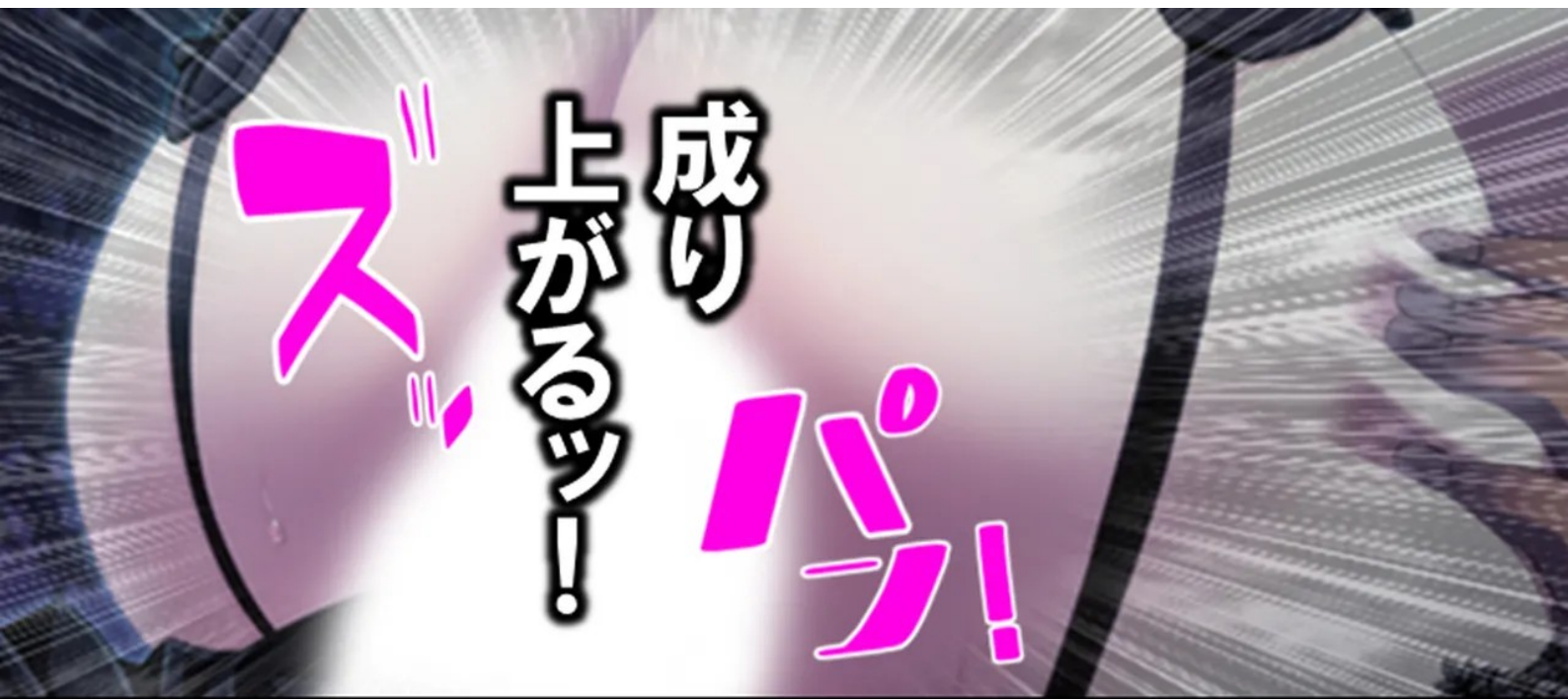


そして  
俺は更に上へと……

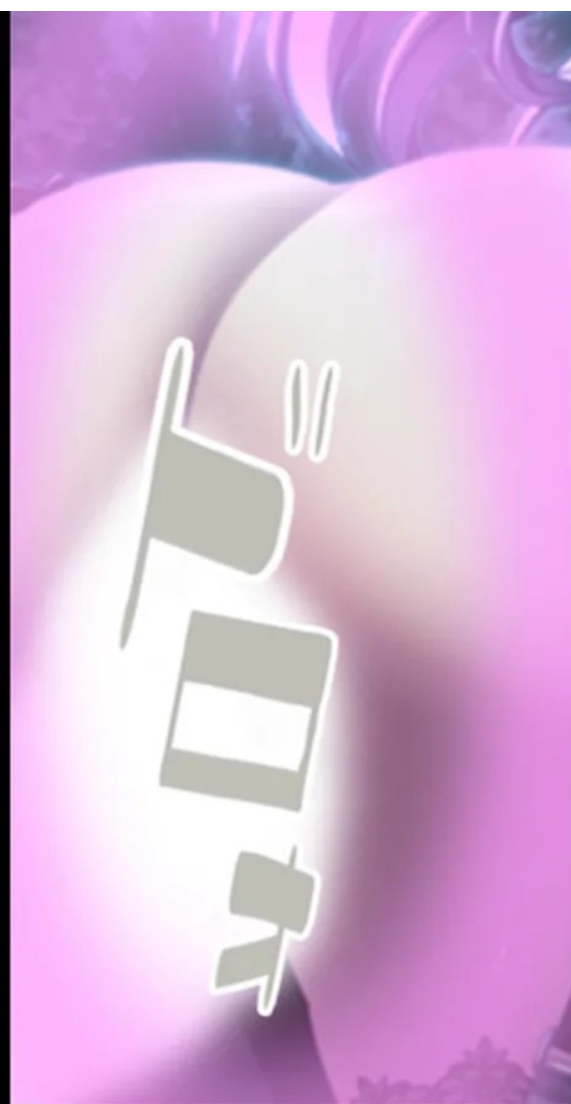
ググ



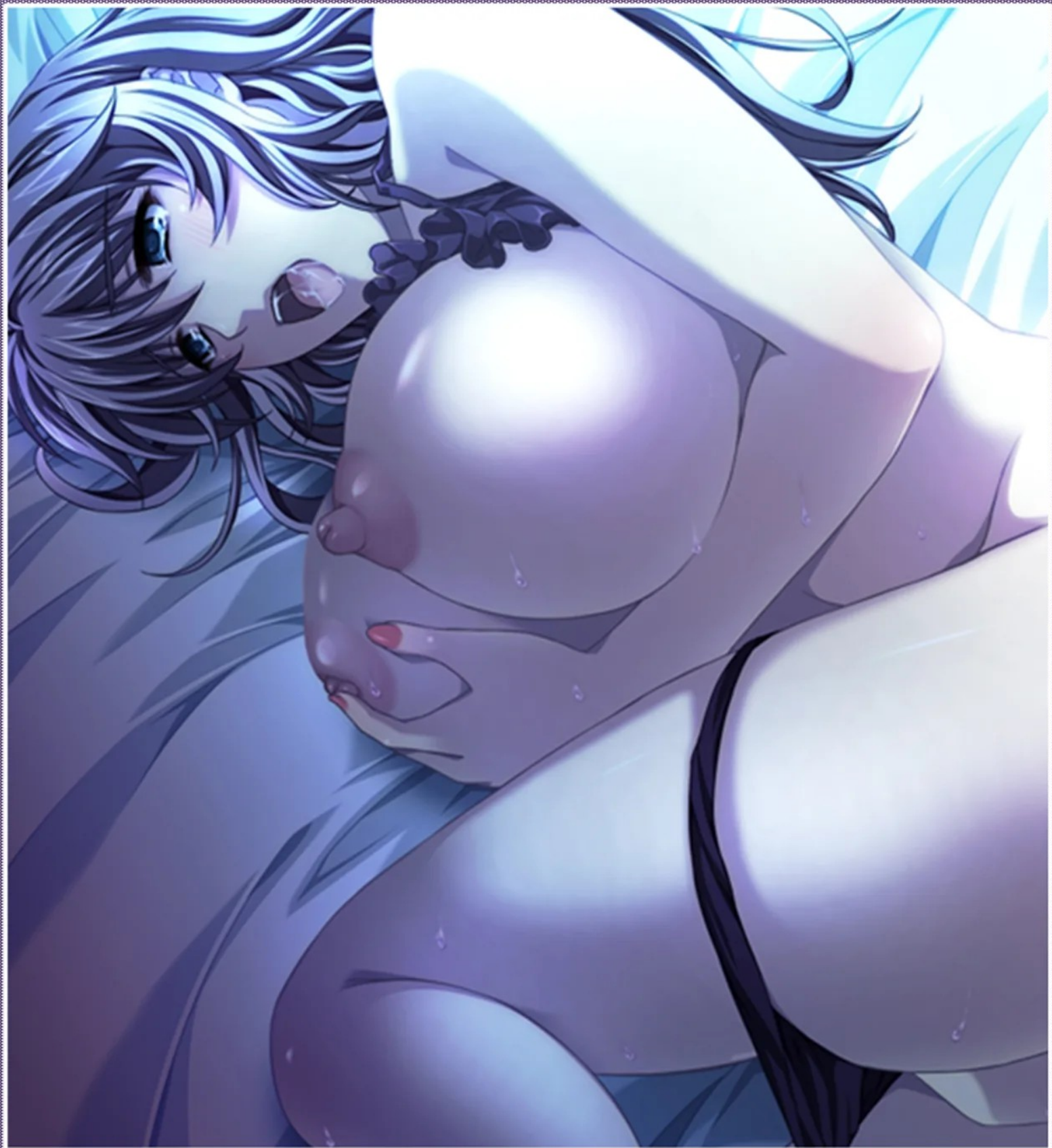
あの会社に復讐する！



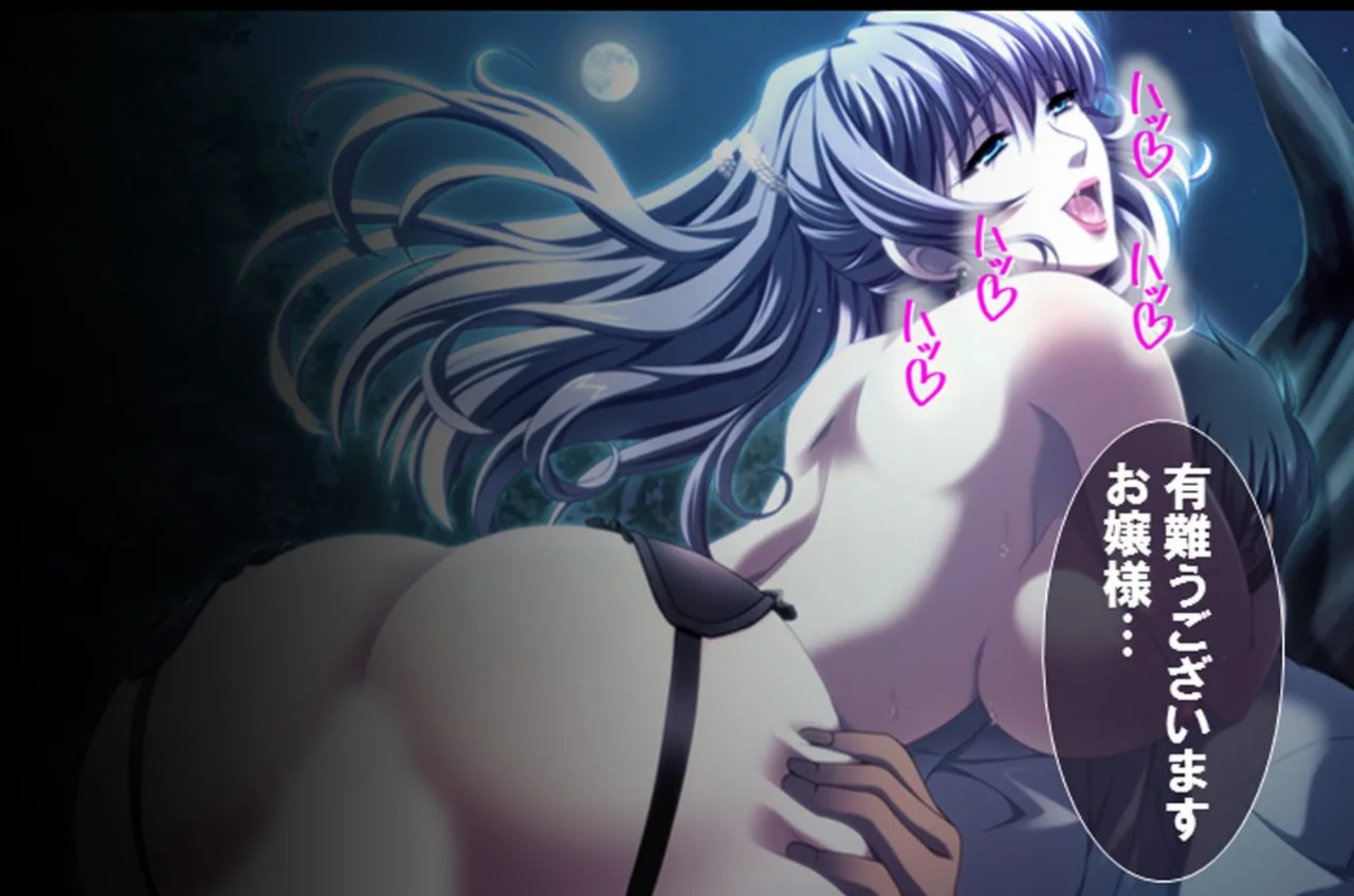


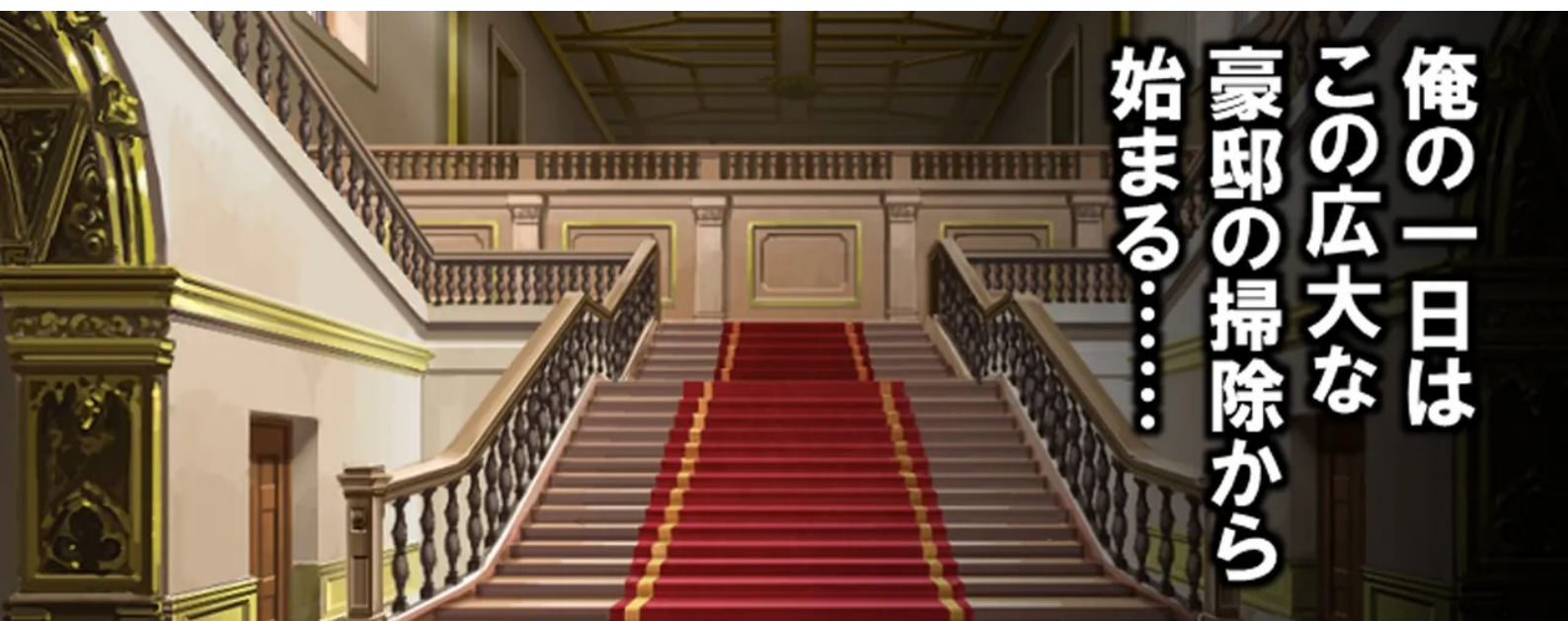


続く



- 第2話 -  
「叛逆の足音」





俺の一日は  
この広大な  
豪邸の掃除から  
始まる……



そして  
滝川京子を起し  
予定の確認――

お嬢様……  
今日のご予定ですが

そして戻ってから  
豪邸の掃除を再開

――出かける  
予定があるの  
ならば送迎……





庭の手入れまで入れて  
一日の大半が終わる……

大半が掃除ではあるものの  
その広大な敷地ゆえに  
かなりの激務である……



大体の人間は体を壊し  
使い物にならないそうだ……

だからこそ壊れる度  
人を買って執事の代用を  
させていると――


肉ッ！  
どまごにいますの！



遅い！

何やってるのよ！  
グズ！

私が呼んだら  
一秒で来なさい！



来たのなら  
さっさと  
肩を揉みなさい

分かりました……

調子こいて高飛車で  
いられるのも今だけだ……

お前の体はもう

俺には  
逆らえない事を

教えてやる!



肩こりの主な原因は  
この二つの大きな乳

揉みほぐさないと  
一生取れませんか？



どうですか？  
お嬢様

むにっ♡

むにっ♡

むにっ♡

むにっ♡

どんどん凝りが  
ほぐれていく感じが  
しませんか？

馬鹿言わないで！

ハっ♡

ハっ♡

ハっ♡

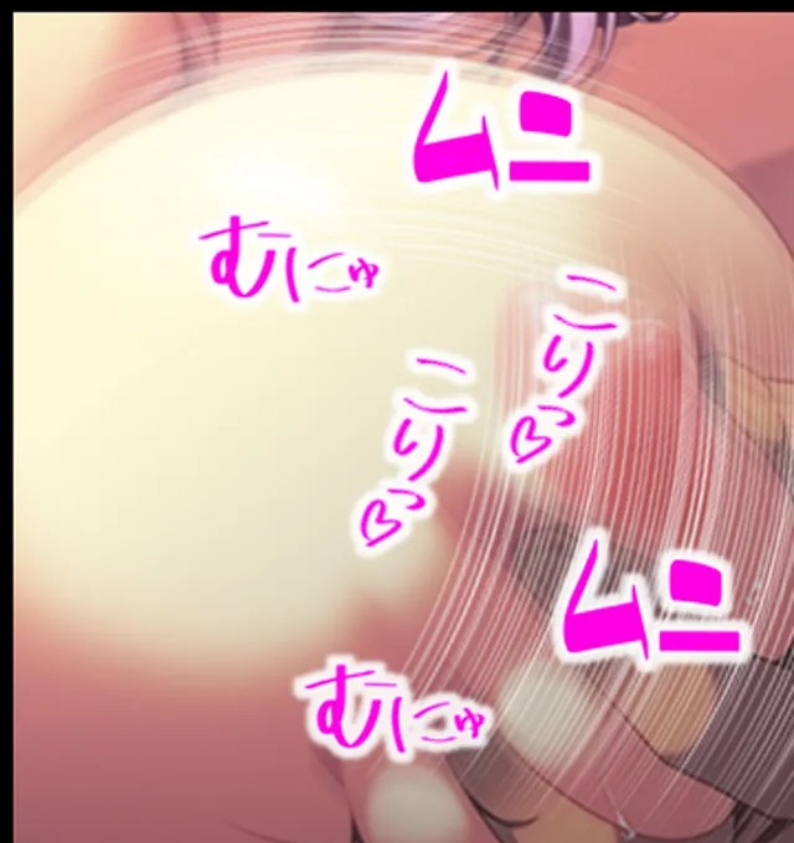
ハっ♡

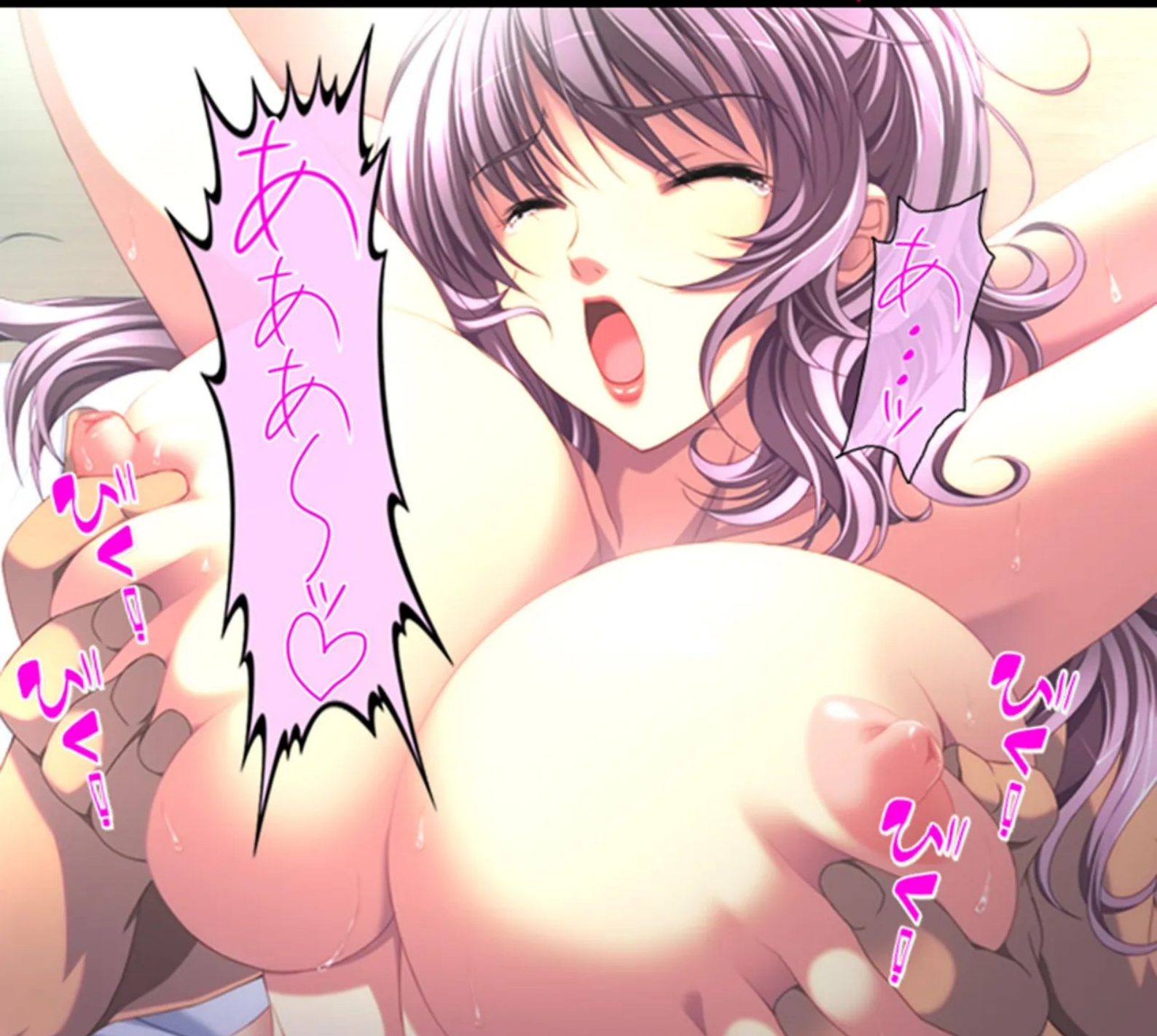
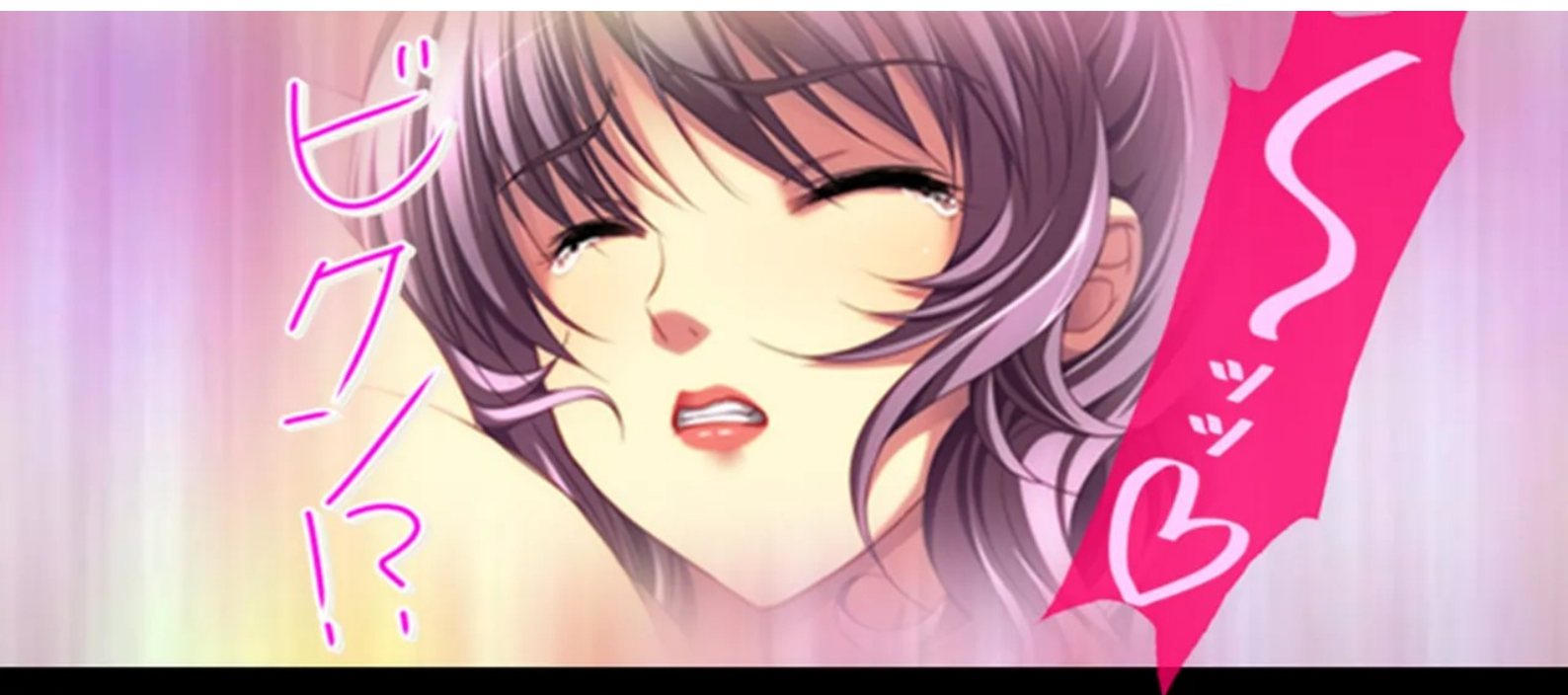
っ 強すぎる  
くらっよ

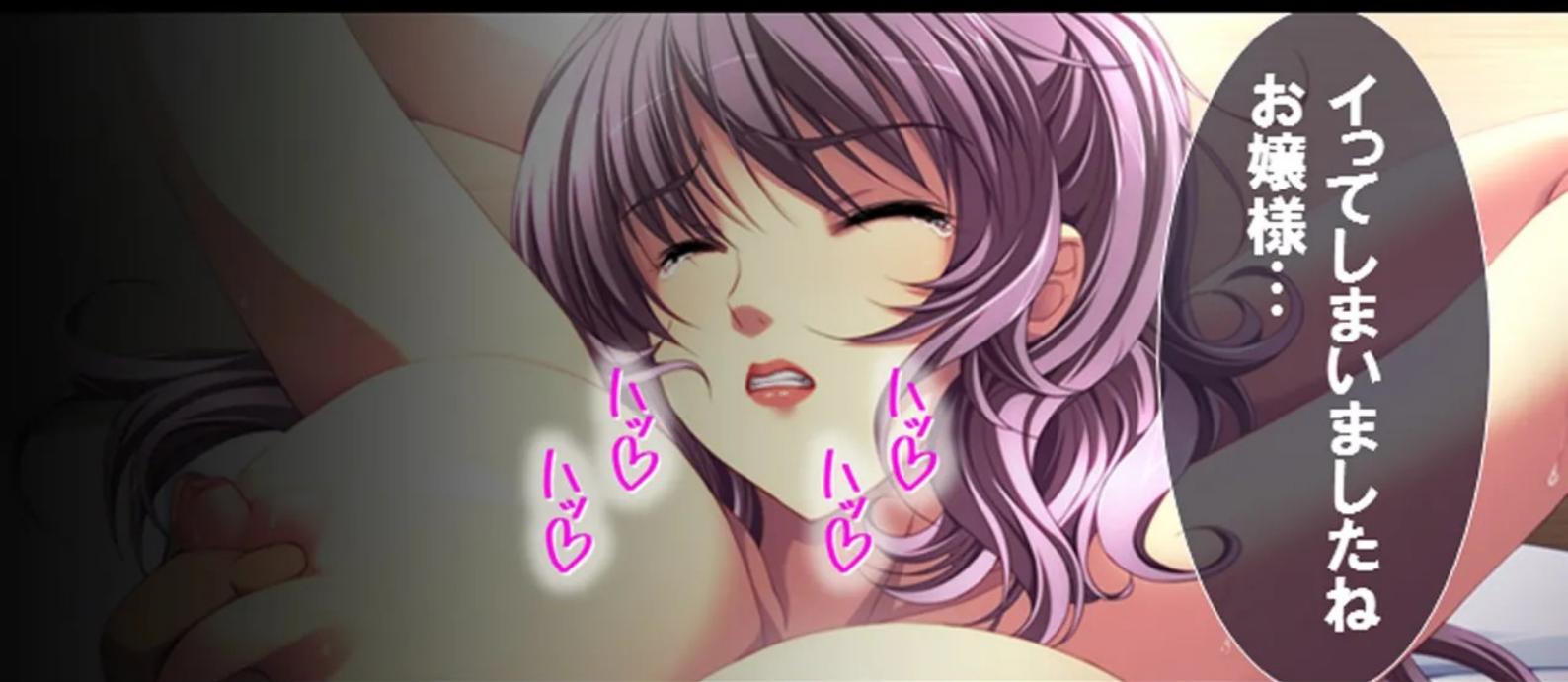
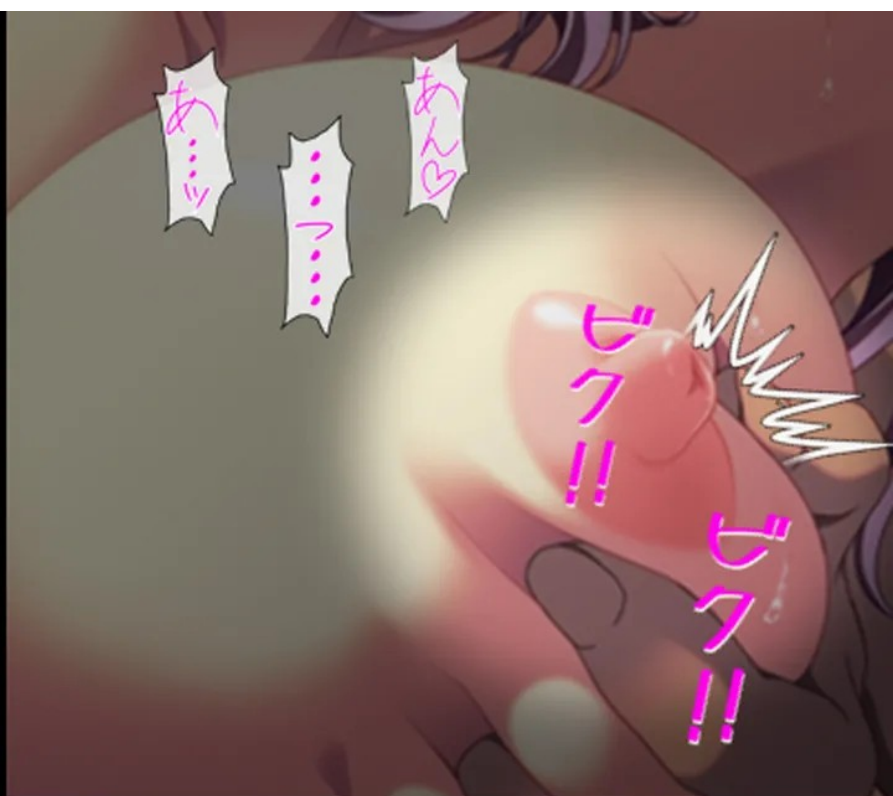
そうですか…  
なら——

グッ  
グッ

グッ  
グッ







それでは

次の施術を  
開始させて  
貰います

ニヤッ...

ちよー!?

肉ッ!  
なんて格好を  
させるの!?

グググ

フフフッ…  
このような格好の方が  
気持ち良いのですよ…

たぶん

は離しなさい!

たぶん

無礼者!

許さないわよ!

たぶん

たぶん

スススス



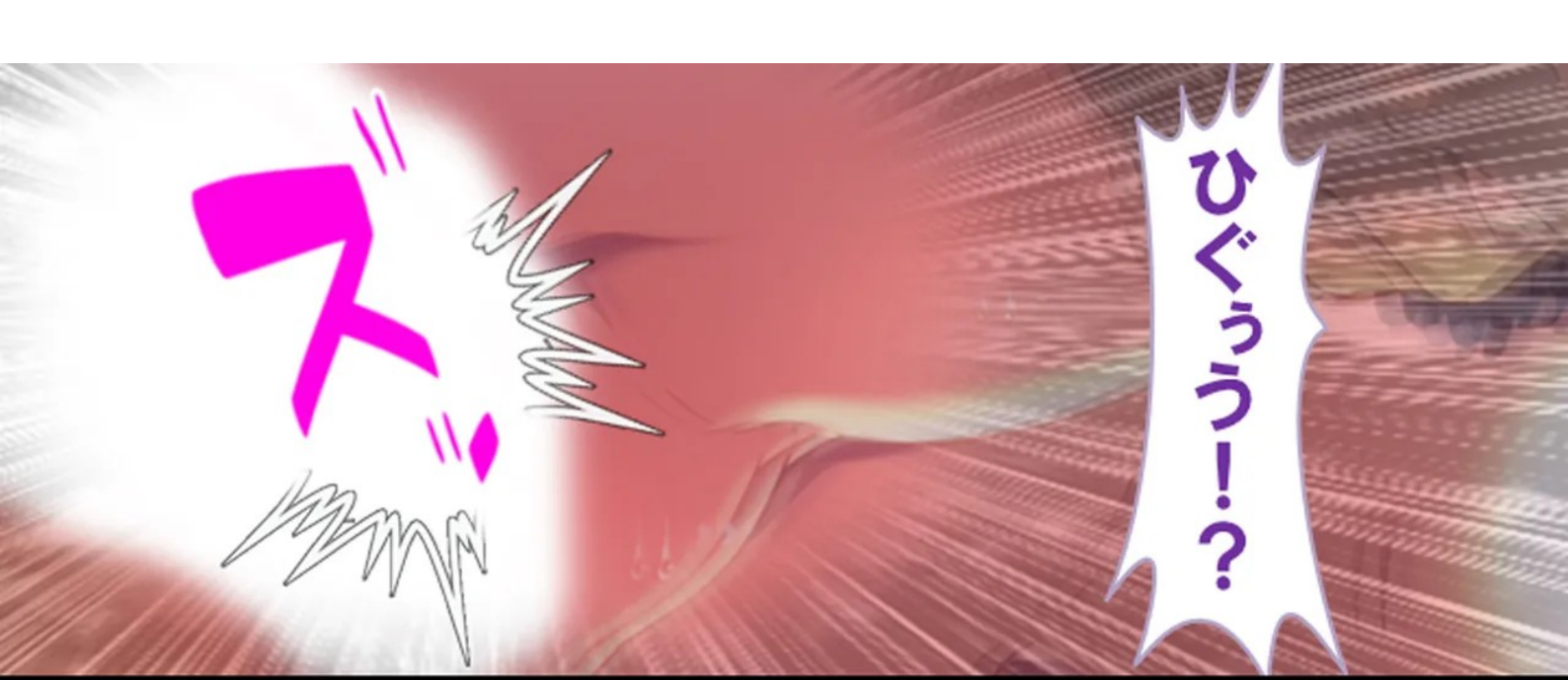


肉う… よくも私に  
恥をかかせたわね…

どういふ処分を  
受けようと構わない  
という事よね？

覚悟しなさい！  
お前の  
社会的地位を——

ゴク  
ゴク  
ゴク







スススススス

セ●クスを  
楽しみましょう！

ハハッ！  
純粋に——  
ならお嬢様

ググ

こんな格好で！

やだああ！

くるくるッ！

あッ！

イクッ！

あッ！

イクウ！

あッ！

ギュ



あ〜っ!?

ピクッ♡



ア  
ッ  
ッ  
ッ  
ッ







出て  
行きなさい  
下郎ツ!





悔しい…  
どうしてこんなにも

アイツの肉棒を  
求めてしまうの…

チュブ  
チュブ  
ブ  
チュ  
チュ  
チュブ

こいっ  
こいっ  
むいっ  
むいっ

やだ!

あッ!

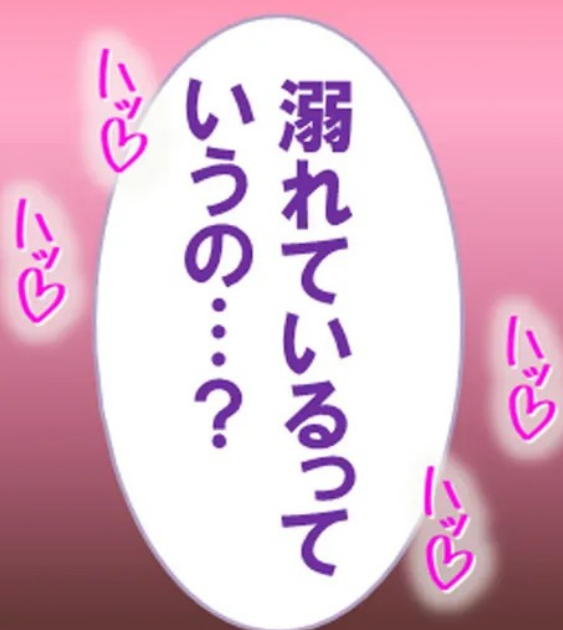
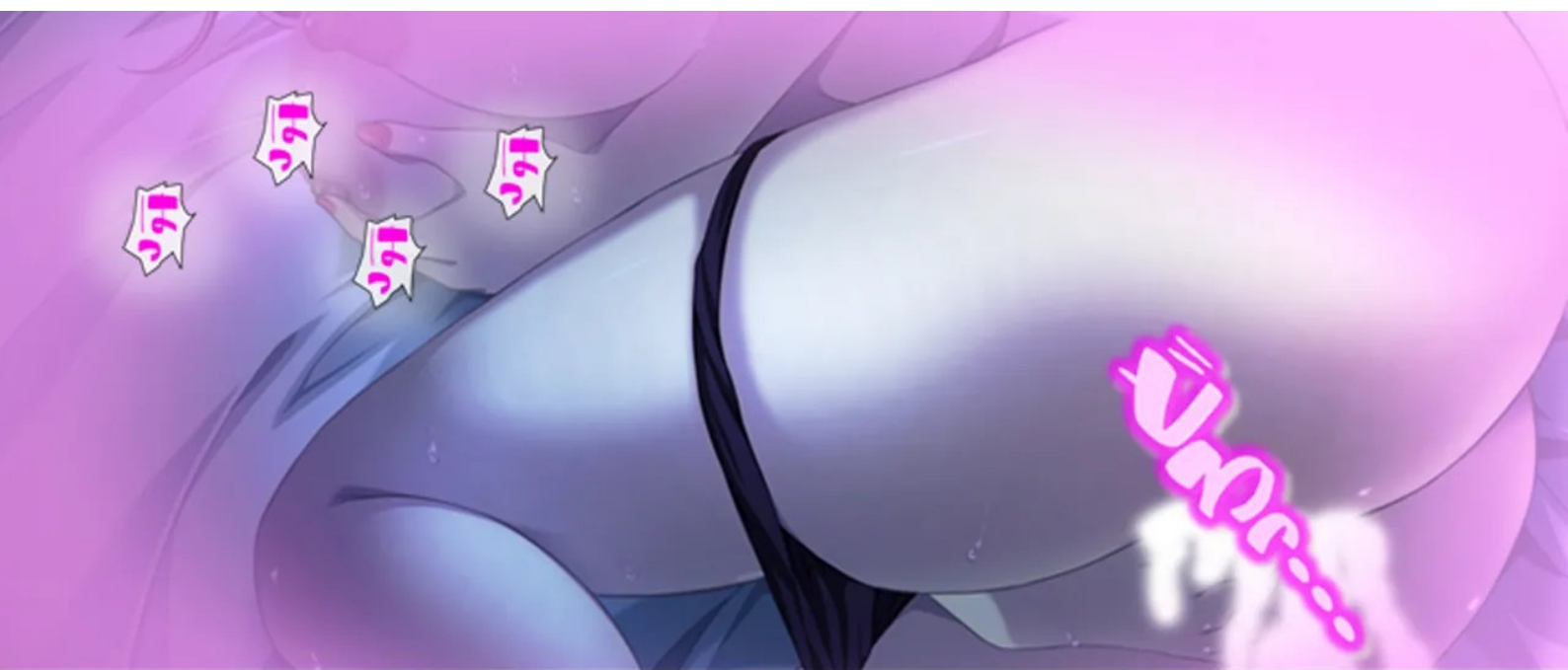
きたッ!

イクウ!

しゅ  
しゅ  
しゅ  
しゅ  
しゅ  
しゅ

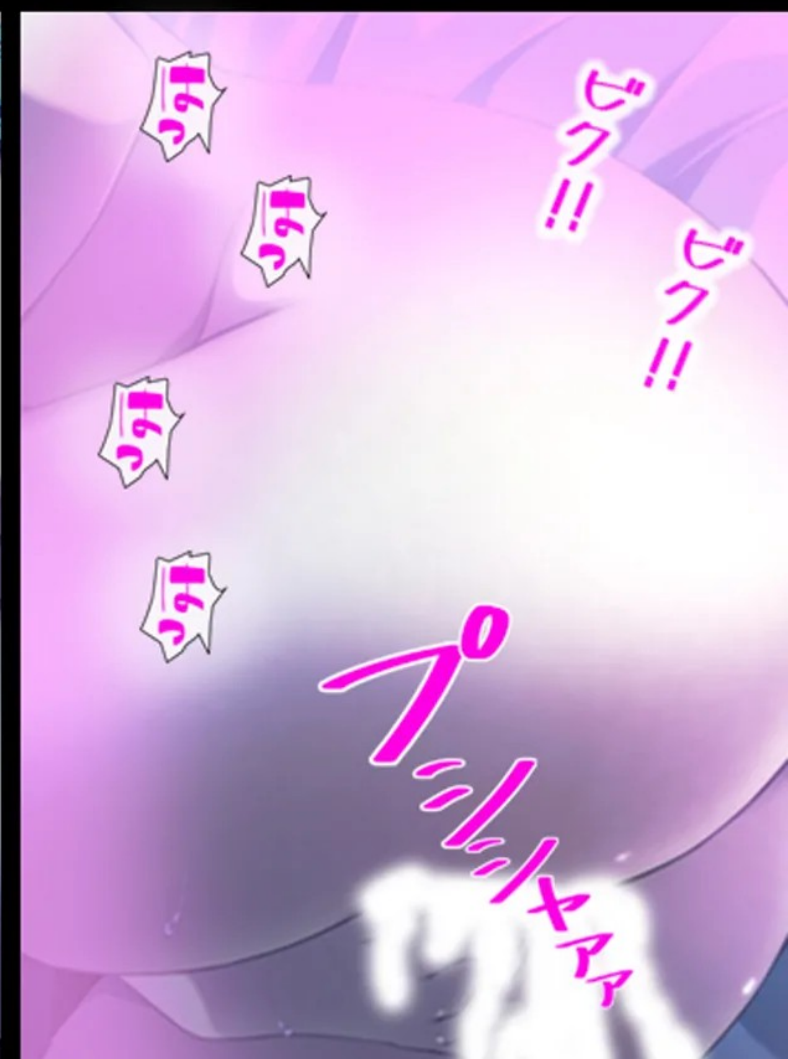
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ







- 第3話 -  
「復讐の狼煙」



ククク…  
やってる  
やってる…

そんなに  
俺の体が  
欲しいか…

また明日…

お前の体を  
**開発**して  
やるよ

お嬢様  
起きておりますか？

んっんん…

ななによ  
こんな朝に

はいはい  
もしもし

ただいま  
代わりました  
滝川…

ニヤリ…

……

このッ！

お電話が  
きておりますが…

それを早く  
言いなさいよ！

ちよ 肉ウ…  
電話中よ！

やめなさいッ！

ビクビク？

ガッ  
ッ！！

お嬢様…  
何を仰るのです…  
ううううのが—

ズブズブツ

良いんじゃないあ  
ないですか♪

あ♡

ビグ!!



どうしました?  
滝川さん

ん…  
は…  
っ…  
あ…

ズブズブツ

果たして犬は  
こんな風にじゃれて

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ

始  
始  
始  
始  
始

ス  
ス  
ス

キ  
ま  
す  
か  
ね  
え  
!  
?

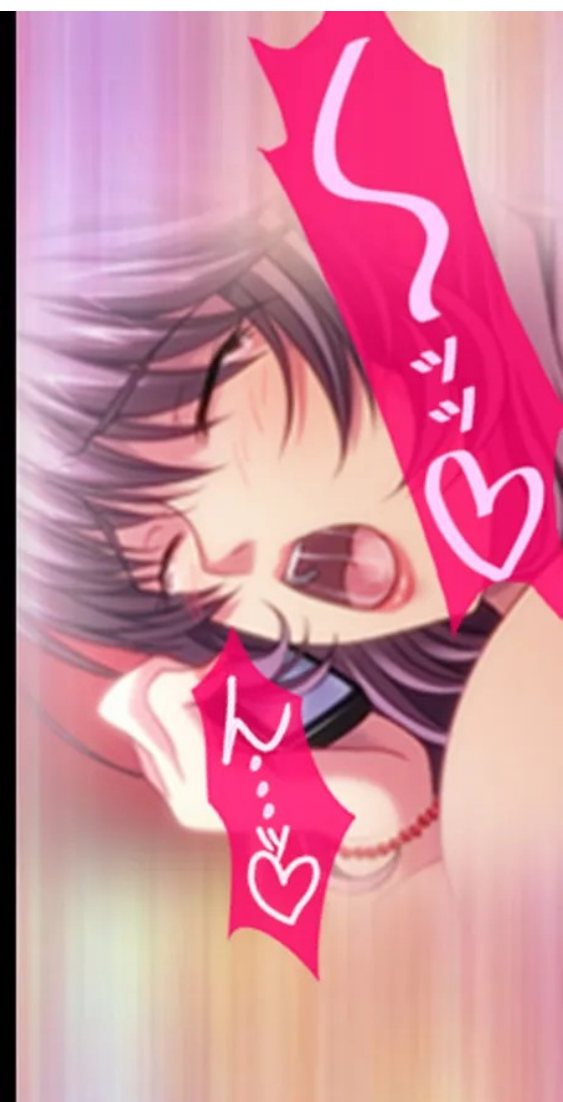
ス  
パ  
ン!



いいいえ...



もしもし？  
体調が悪いですか？  
先程からなんだか...



ん...♡



構わないわ.....

少々今日は  
熱っぽいみたい

ピク!!

ピク!!

ピク!!

ピク!!

ズチュ  
ズチュ

ズチュ  
ズチュ

でも一分一秒…  
無駄に出来ないわ…

ククツ…  
強がっちゃって

ズグズグ

今のこの状況に  
興奮しているのが  
丸分かりだぜ？

ニヤリ…





そんな  
激しく



や  
やめ...  
やめなさい!



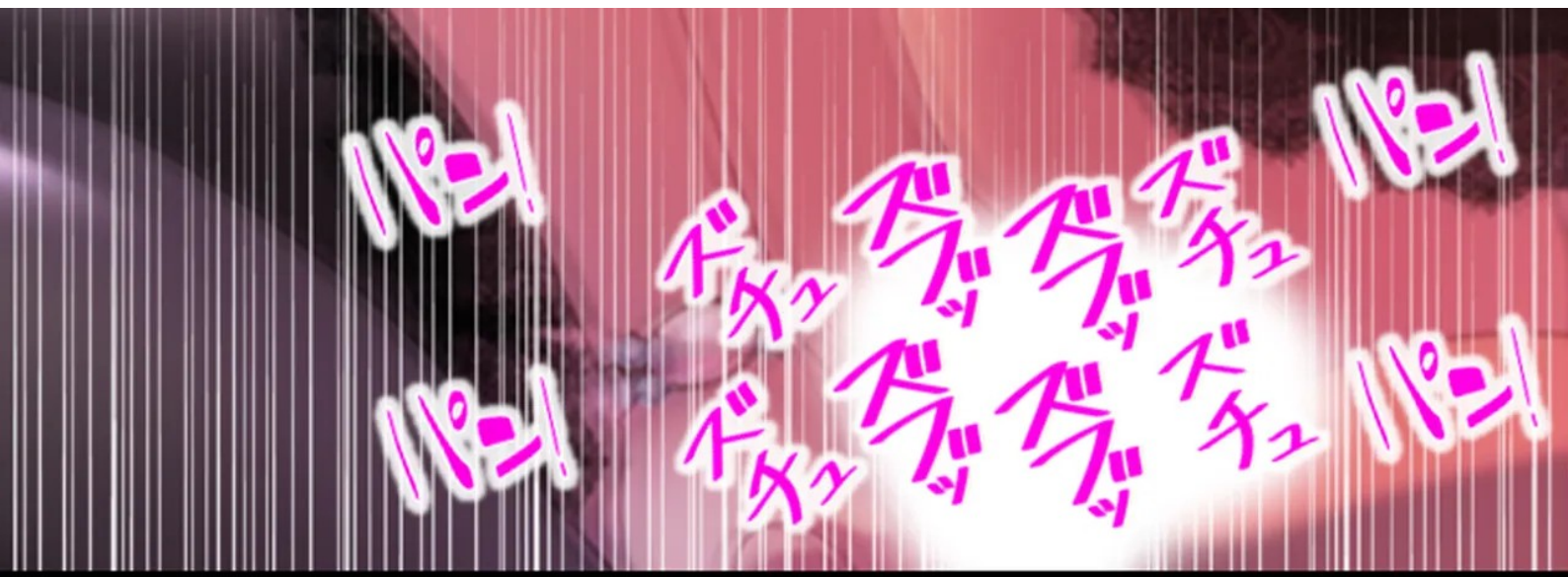
...ひぐうー!?



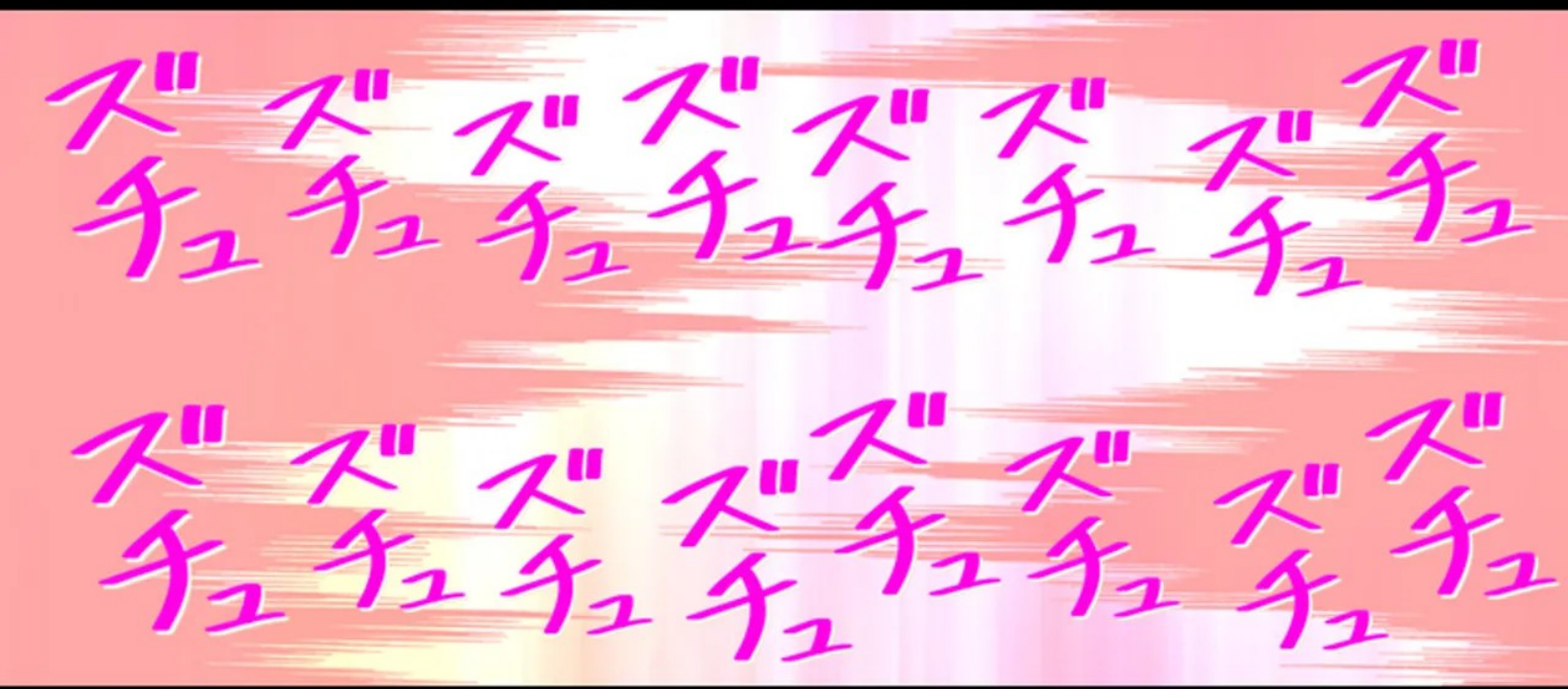
そんな事言つて...  
お嬢様のオマ●は



声が  
漏れちゃう!



ハッハッハッ  
ズチュズチュズチュズチュ  
ズチュズチュズチュズチュ  
ハッハッハッ



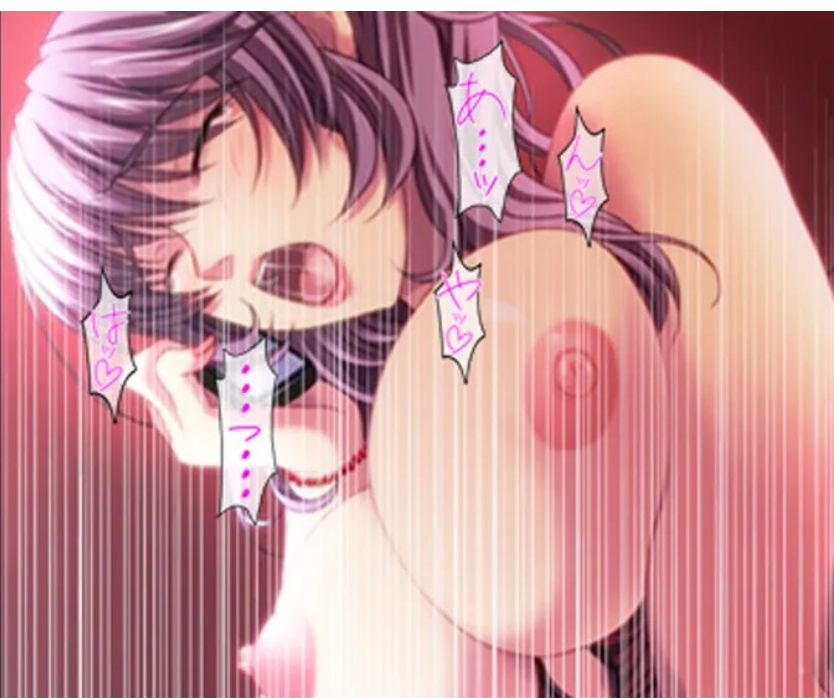
ズズズズズズズズ  
チュチュチュチュチュチュチュ  
ズズズズズズズズ  
チュチュチュチュチュチュチュ

ズズズズズズズズ  
チュチュチュチュチュチュチュ  
ズズズズズズズズ  
チュチュチュチュチュチュチュ



あふっ!!

ビクッ!!



では最後に商談の  
相手との会合は  
いつになさいますか？

その…商談の…  
件については…



ご後日…  
都合のつく……日を  
聞いて——おいて

ほおら…

ラストスパート——

グ  
グ

かけますよおっ？



ま  
待って！

もうすぐ  
終わる——





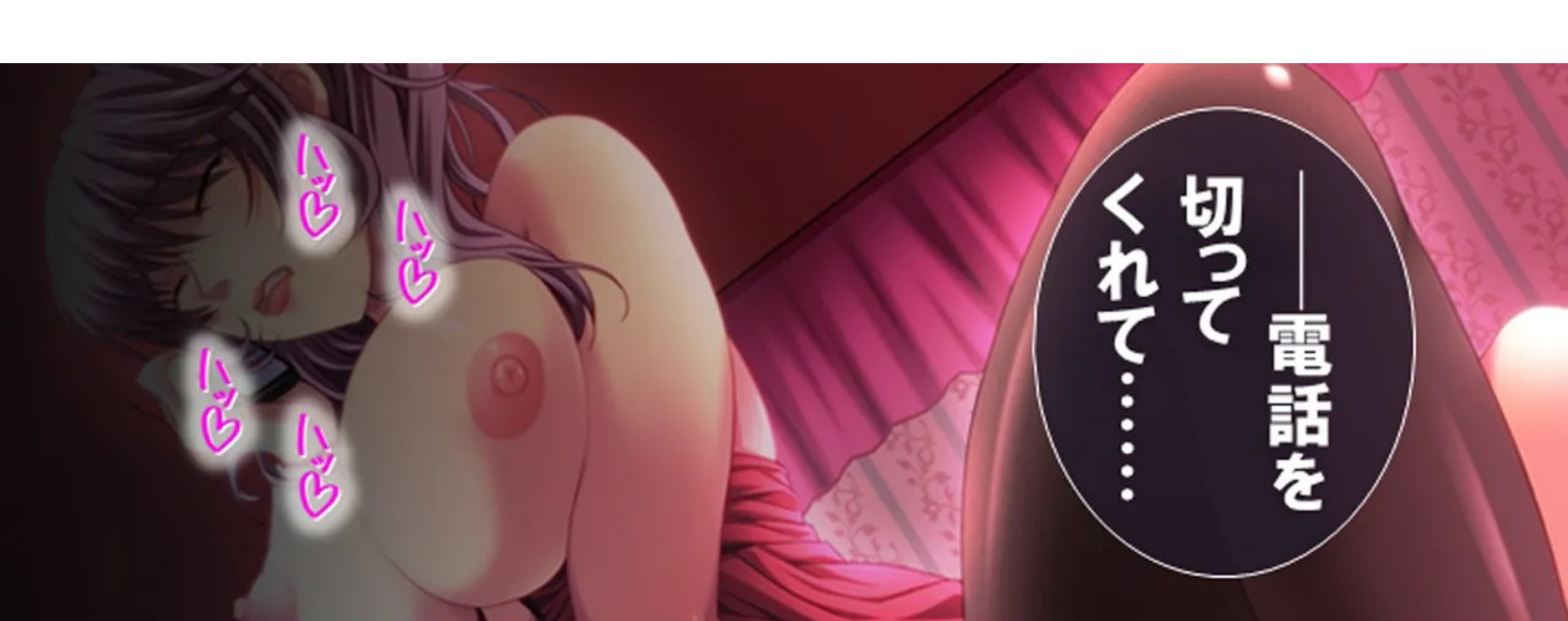
あ  
.....  
や  
や  
や



ア  
ア  
ア  
ア







電話を  
切つて  
くれて……



後日……  
会合の日



ようこそ  
いらっしゃいました

お待ちして  
おりましたわ 社長





この女は……



膣にバ○ブを  
ぶっ込んで  
恥辱プレイに  
勤しんでいる

そっで

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ

そのスイッチは  
俺が持っている

どうじゃあ……

体調が優れないのなら  
次回の機会に――

いいえ――

そのようなお手間を……  
かけさせる訳……には



た 滝川さん…

ゴクッ

失礼ながら  
いつも以上に

ズズズズズズ

非常に魅惑に  
感じますな…

ズズズズですか？

これからホテルで  
商談の続きを行う  
というのは——

ニヤリ…

そ  
それは——

ニヤリニヤリニヤリニヤリ

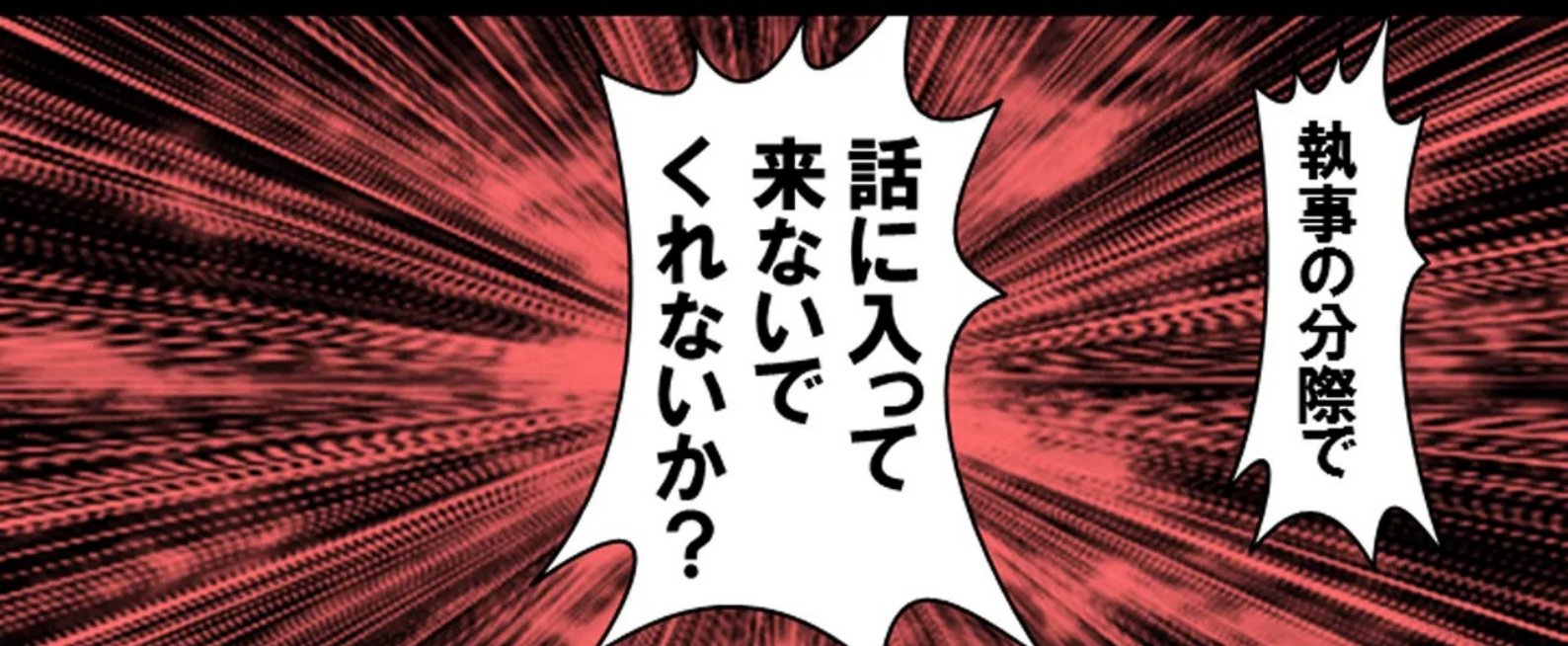


お次の商談が  
ございます……



お嬢様——

ま



執事の分際で

話に入って  
来ないで  
くれないか？



いいえ……




ジュ



つ次の会合が  
あるので……

お断りさせて  
頂きますわ



分かり……ました……  
では後日……



ツ!



ユサッ

ユサッ

ガッ  
ガッ

ユサッ

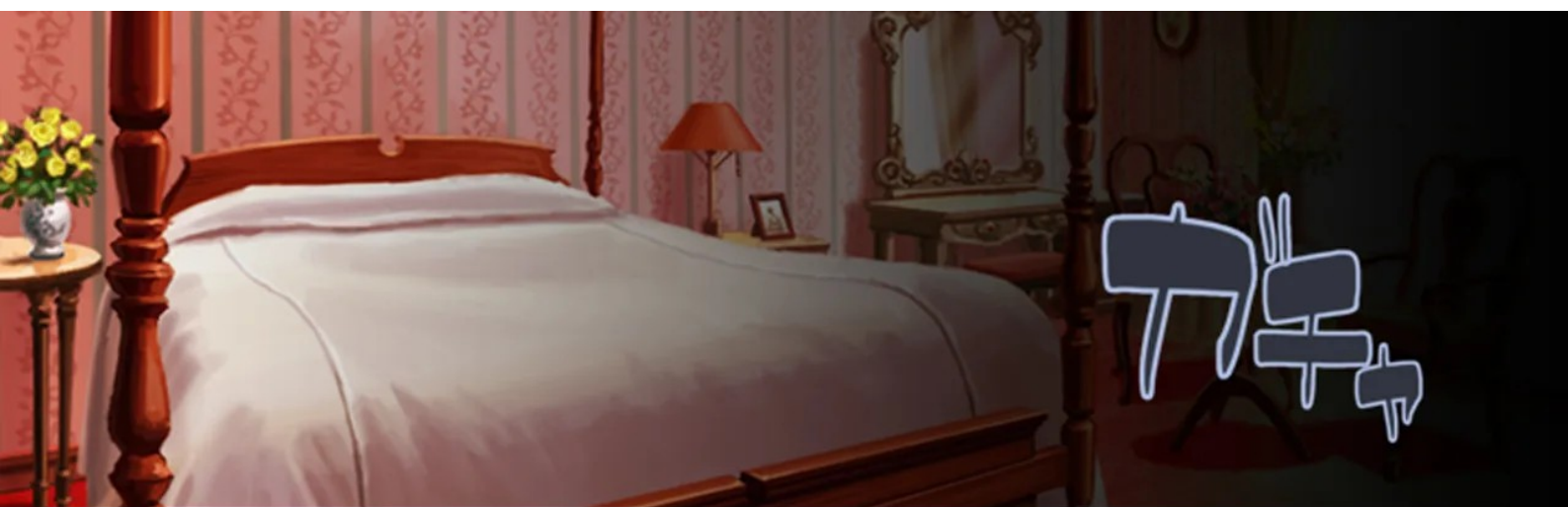
ユサッ

ガッ  
ガッ



それでは  
ベッドへと行きましょう  
お嬢様





いつもと少し  
様子が違うわよ?!

ちよ ちよっと?  
いきなり押し倒して

もう媚びへつらうのは  
終わりだ…

続<



- 第4話 -  
「人間嫌いの悪魔」



もう媚びへつらうのは  
終わりだ…

媚びへつらうのは…  
終わり？

貴方——

自分で  
何を言っているか…

分かっているよ？  
お嬢様…

アンタが——

グキュ  
グキュ

くぽ  
ぽ  
あつ♡

グキュ

グキュ

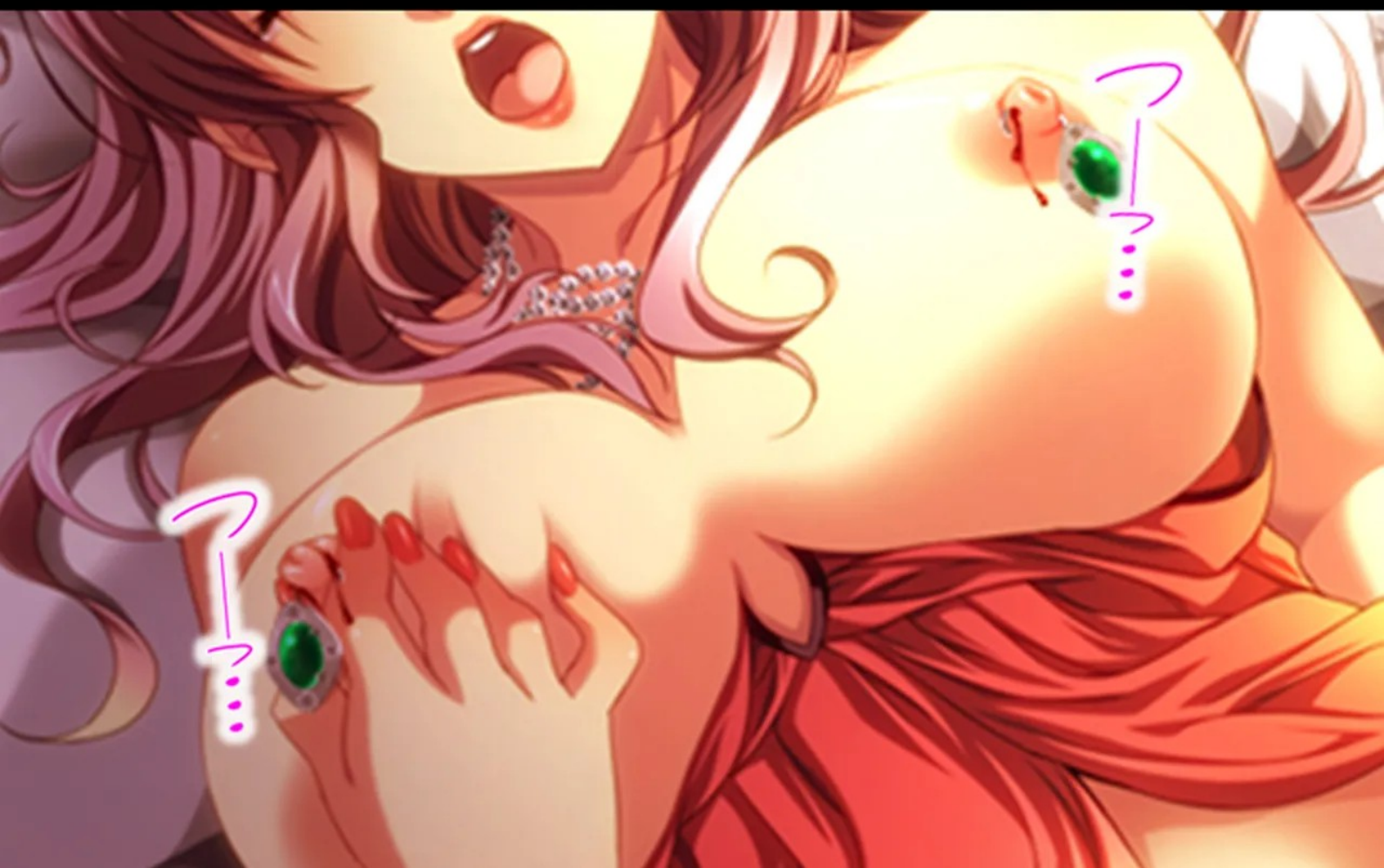
ニヤリ……

俺の快感に  
ハマっちゃまってる  
って事も♪

単純に——

だからってアンタを  
殺すとか物騒な話を  
したいんじゃない










そういう割には——

ひんげ……

もう  
ぐちゃぐちゃに  
濡れそぼって  
いますかねえ



俺の事を  
満足させたらな!



でええもおお  
アンタを犯すのは……



それじゃあ  
やって貰おうか...



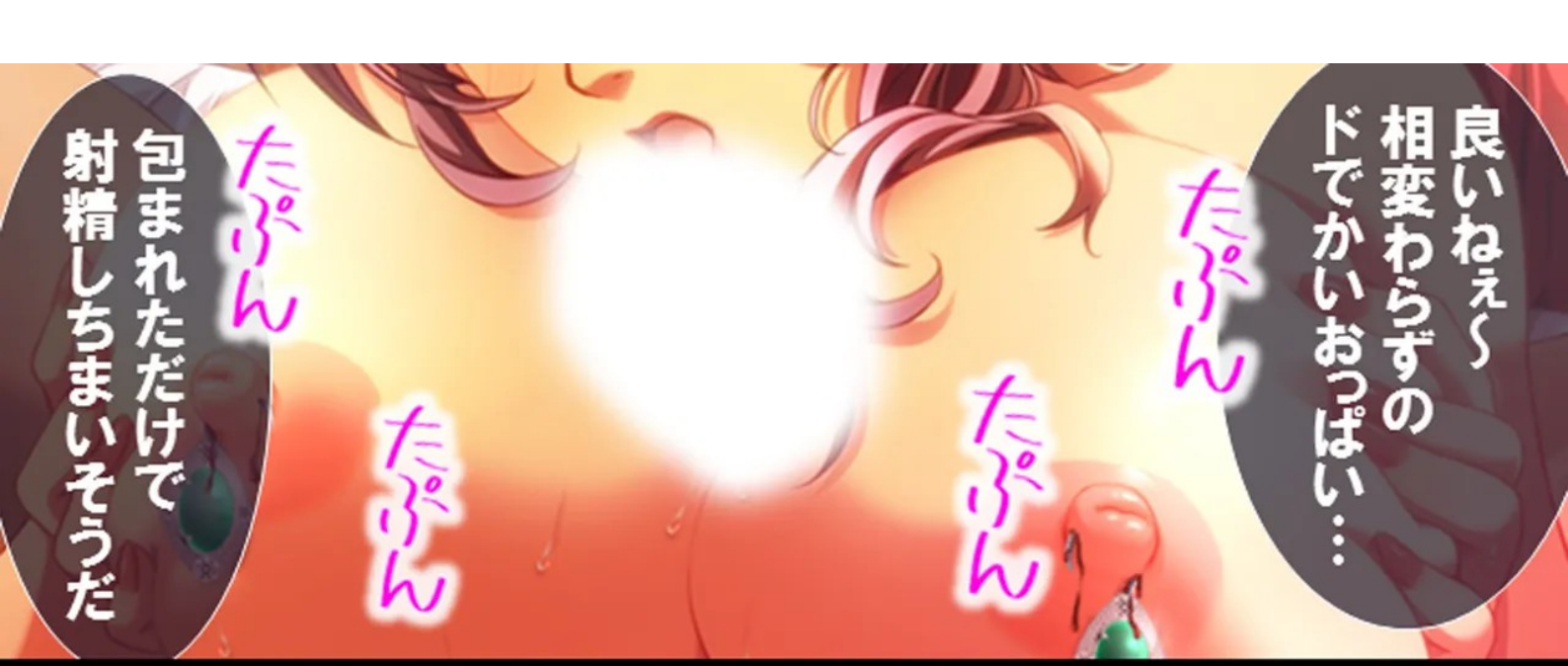
ドクドク!



いっ! いっ! すねば...  
寝るわ...



ドクドク...



良いねえ〜  
相変わらずの  
ドでかいおっぱい…


たぶん

たぶん

たぶん


たぶん

包まれただけで  
射精しちまいそうだ



しかし  
乳首ピアスを付けた  
途端――

随分と大人しく  
なっちゃって♪



まあ俺は  
その方が――

グ  
グ

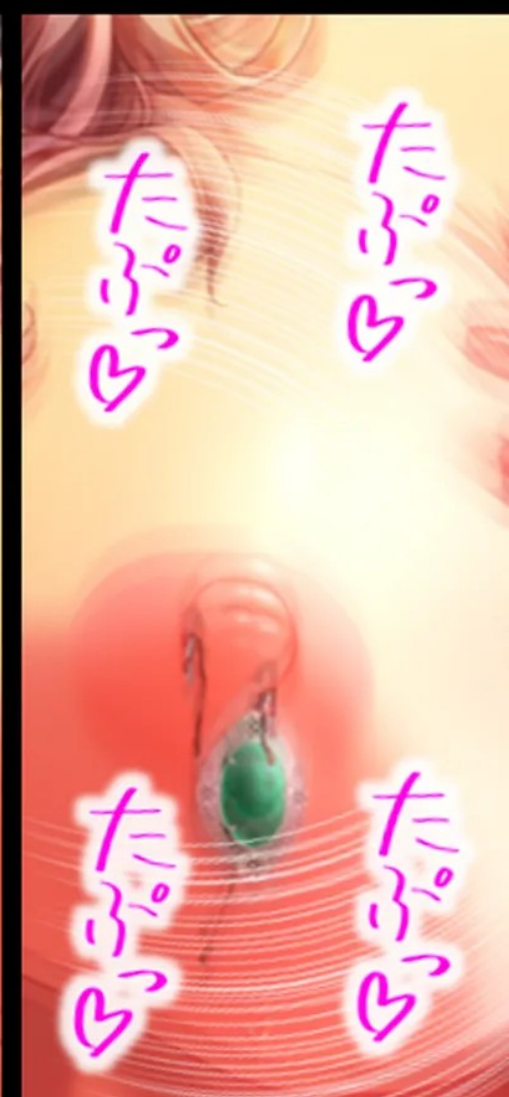
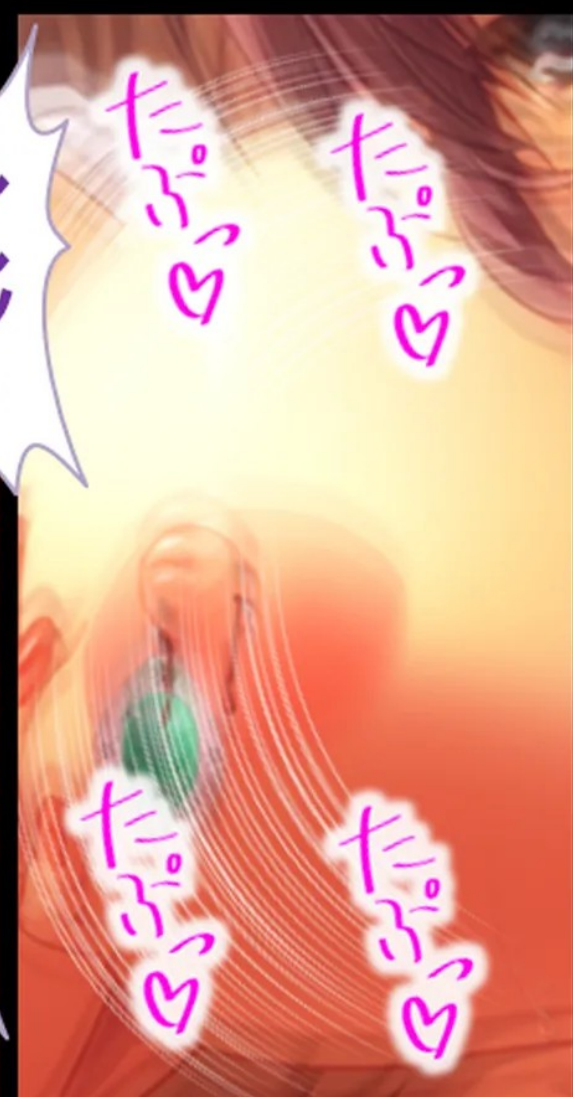


やりやすくして  
良いけどなッ!



んんッ!

ふあッ!



おいおい  
どうしたあ〜？

まさか…

感じちまってる  
いるのかあ〜！？

だ  
だつて——

乳首の  
イヤリングが……

ズキ

ズキ

……動く度に  
刺激されて——

ズキ


ズキ



感じちやうー!

ひひひ…  
そりゃそうだろう

その…  
イヤリングには…



淫欲を掻き立てる  
匂いが出ている

ふに  
ふに

ふに

ふに



匂いが  
漏れてきて

たふっ♡  
たふっ♡  
たふっ♡  
たふっ♡



揺らせば  
揺らす程…

たふっ♡  
たふっ♡  
たふっ♡  
たふっ♡



情欲を  
掻き立てるって  
寸法さッ！

ム  
ッ  
ワ  
ア  
ア  
ア



ドクン

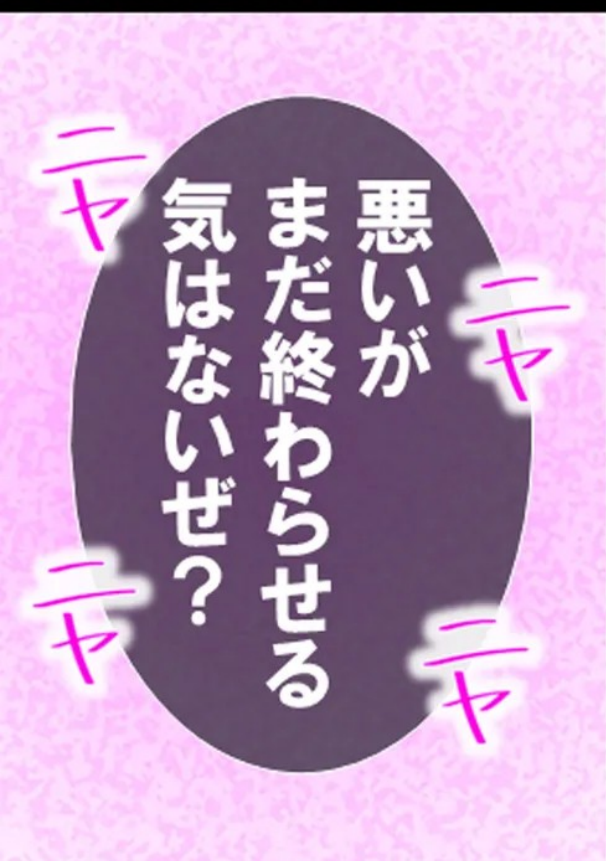
ドクン

ドクン

ドクン















なあにが嫌だよ…  
アンタのマ●コは——



こんな状況で  
俺のチ●ポに  
しゃぶりついてるぜ



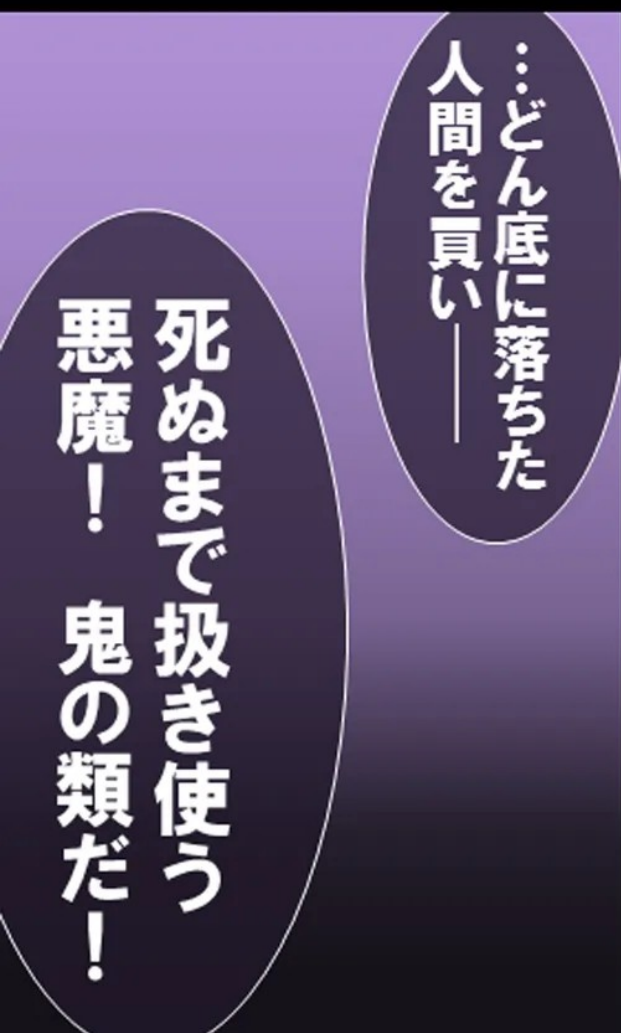
嘘よッ!

私は…  
そんな下品な  
女じゃない!



むげん…  
むげん…

いいや…  
アンタは下品な女さ  
滝川京子



…どん底に落ちた  
人間を買い――

死ぬまで扱き使う  
悪魔！ 鬼の類だ！



アンタは幾人の  
下々の人間を  
踏みつけ見捨て――

その地位に  
立っているんだろ？  
そして気まぐれに…

その『怠惰』の  
性質から――

人間嫌い  
ベルフエゴール  
そのものだッ！

その悪魔はなあ、  
排泄物が供物なんだ  
まさに――

グ  
ズズズ

お前に  
ぴつたりだ！

ズグッ  
ズグッ  
ズグッ  
ズグッ  
ズグッ  
ズグッ  
ズグッ  
ズグッ  
ズグッ  
ズグッ

あッいやー！

こんなので

イクッ

イクッ！





はっ♡

はっ♡

あ...♡

♡  
ッッ♡

むぎや...♡

むぎや...♡

オラ... 喰らえ!  
この下品女がああ!

ズズ  
ッッ♡  
ッッ♡  
ッッ♡



続<



- 第5話 -  
「隷属した女」



そりゃあ  
許されるだろうさ  
なんて言ったって…

こっぴつな事して  
許されると思ってるの？

めっぴっ  
めっぴっ

そんな  
格好なのに…

又レ又レ  
なんだからなッ！

レレレレ  
レレレレ  
レレレレ  
レレレレ

なッ!

違ッ!

いやいやいやいや……  
完全に堕ちてるだろ

まあ否定するのは  
良いんだけど――

じゃあコレに  
耐えてみな――

シュッ



バ●ブ挿れただけで  
声をあげてやる!





そんな  
下賤な…

庶民の  
道具なんか  
又きなさいよお！

トクミン！

庶民の道具ってまで  
言っちゃまったか…

だがアンタは今…  
その庶民の道具に—

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ





いやあ〜

風が  
涼しいですねえ

こんな  
晴れた日は――

.....っ

外で露出に  
限りますねえ〜

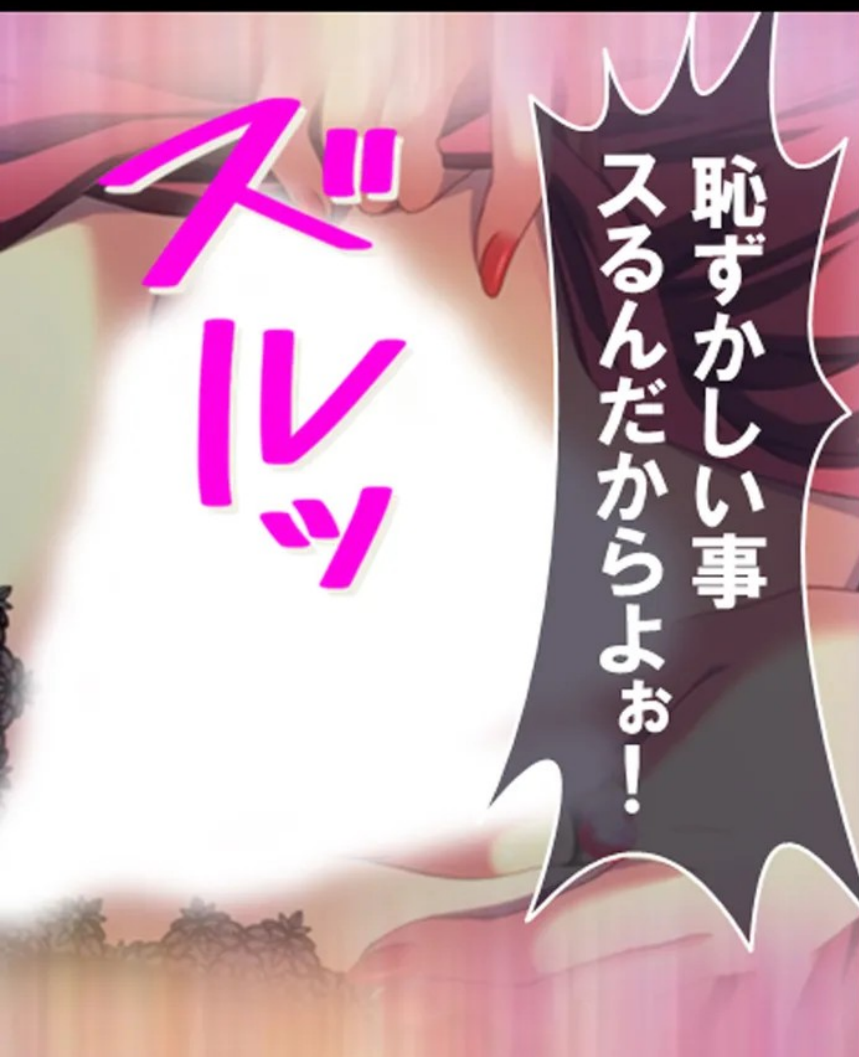
ズチュ  
グチュ  
ズチュ  
グチュ

こんな所で  
こんな格好――


誰かに見られたら  
どうするの…

もぞ  
もぞ

それが良いんじゃないですか♪









自分の庭とはいえ  
マ●コを丸出しに  
しているなんて…

誰が想像するで  
しょうねえ〜！



別に俺の事を  
捨てても良いし  
訴えても良いぞ？



—  
だが…

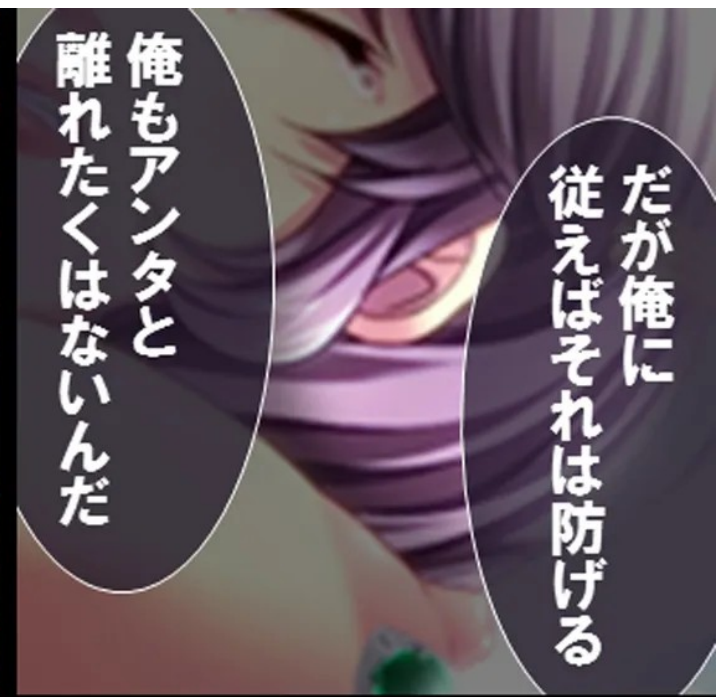
アンタの事を  
全てマスコミやら  
週刊誌やらに—



売り込んでやる！


アンタの評価は  
世間から失墜する…

アンタは  
自分の欲望に  
溺れ死ぬんだよ！



だが俺に  
従えばそれは防げる

俺もアンタと  
離れたくはないんだ



なあ？  
素直になれ

—— 快樂が  
欲しいだろっ？



わ 分かったわよ！  
従ってやるわよ…



だから！

だから  
私の事ッ！

犯してッ！！



滝川京子ッ！

イネエエ〜  
良いよ良いよ！

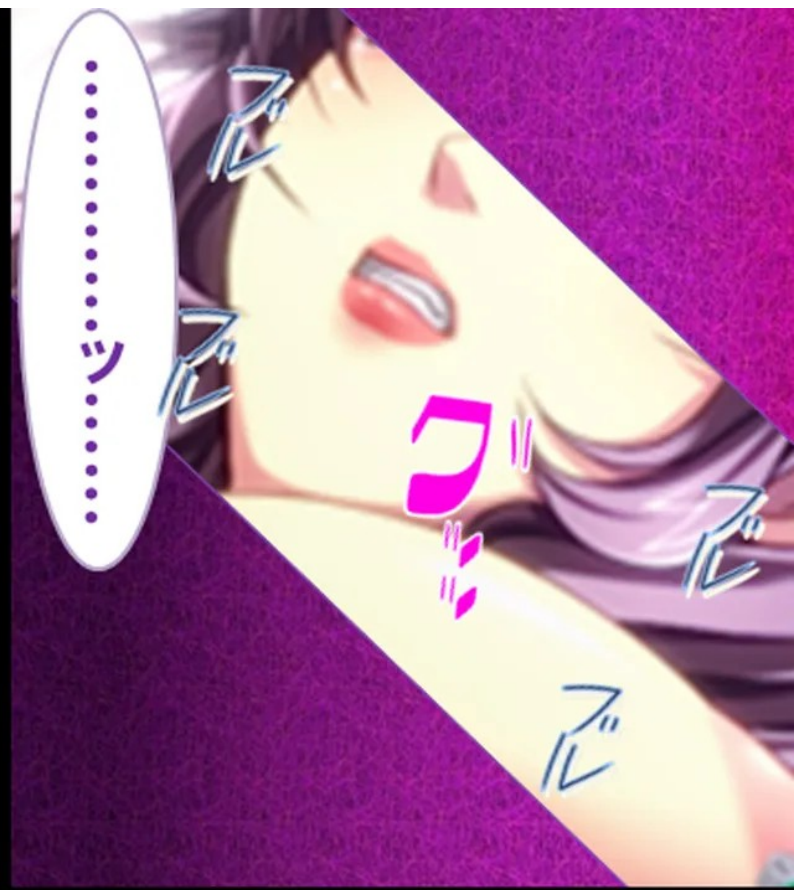
その方が  
女としてよっぽど  
『らしい』ぜっ？



それじゃあ  
二度目の契約も  
果たされた事で

女王様に  
あるまじき…

立ち小便を  
かまして貰おうか！



おお  
出てる出てるっ

じゃあ  
早速で褒美タイムと  
行こうじゃあないか!

ハハッ!  
ちゃんと全部  
出しきったみてえだな

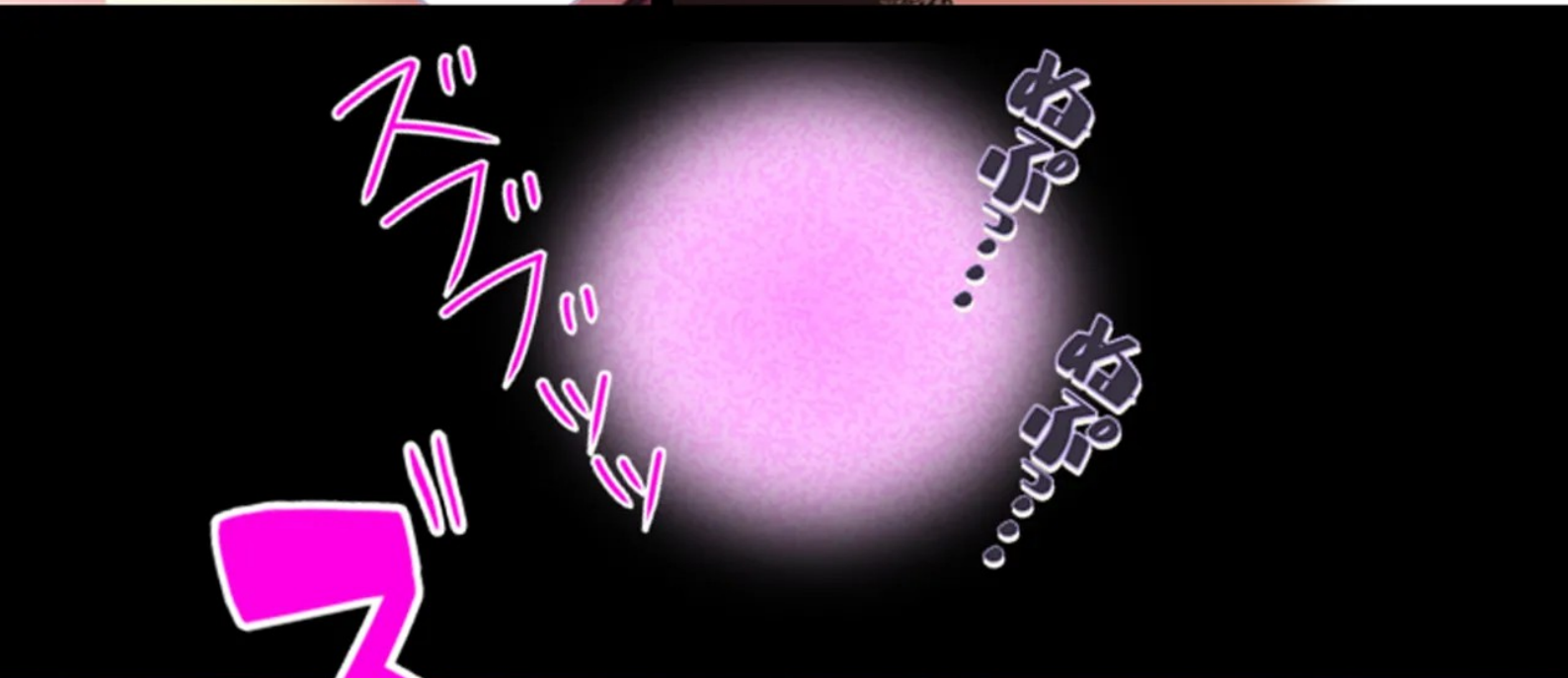


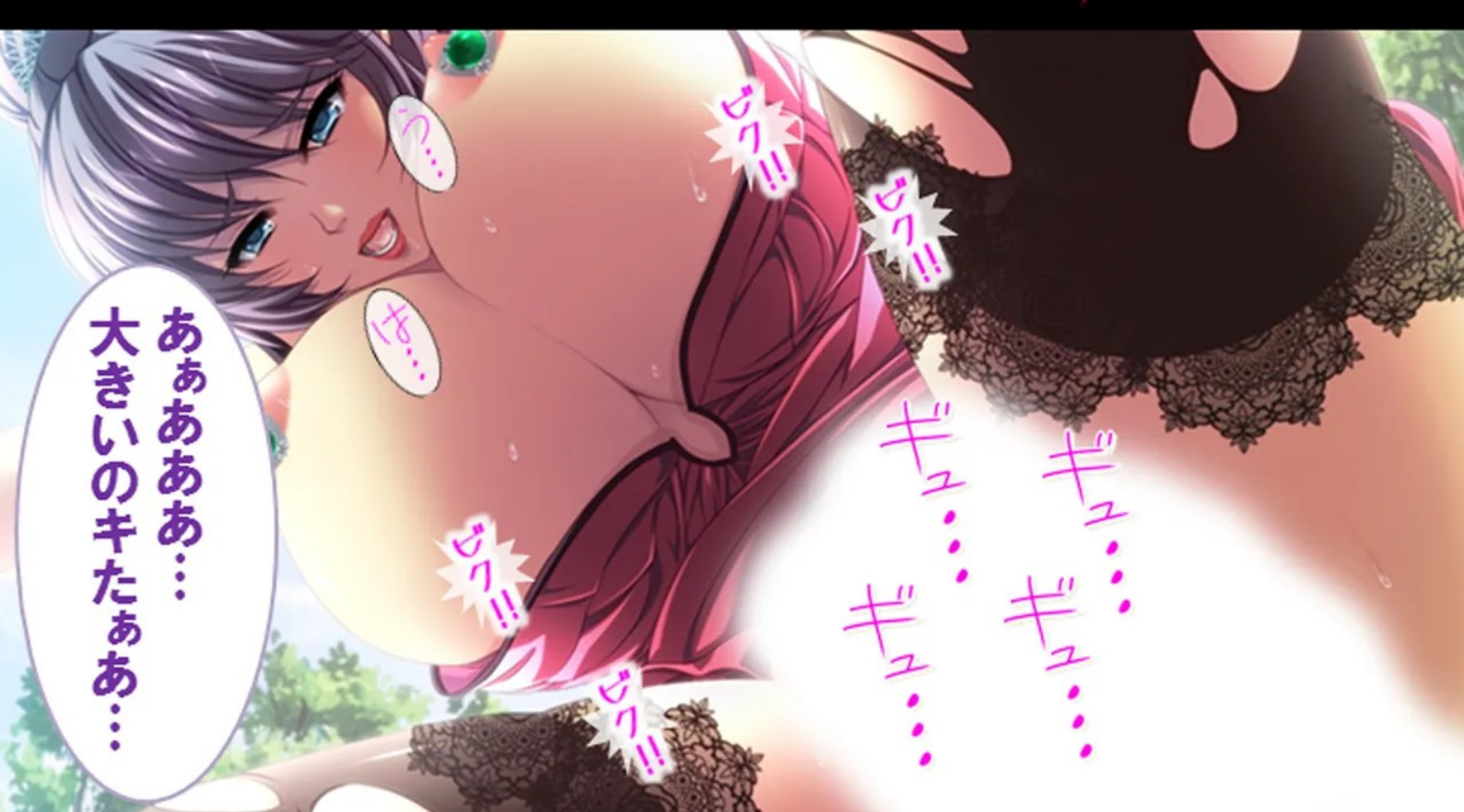
入って…  
まわ…

アッ  
はあああああ…




ほおら…  
お前が望んでいた  
チ●ポだぞお



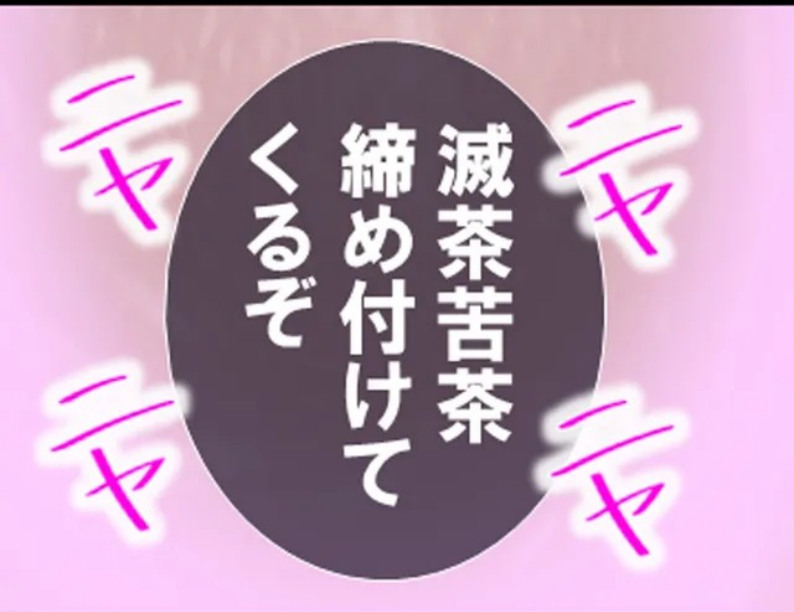




どんだけチ●ポ  
好きなんだよ？



ただ挿れた  
だけでチ●ポ



滅茶苦茶  
締め付けて  
くるぞ



ご褒美なんだし？  
存分に――







嘘よツ!

嘘ツ!

これ!?

なに!?



こんな気持ち良い  
なんてツ!

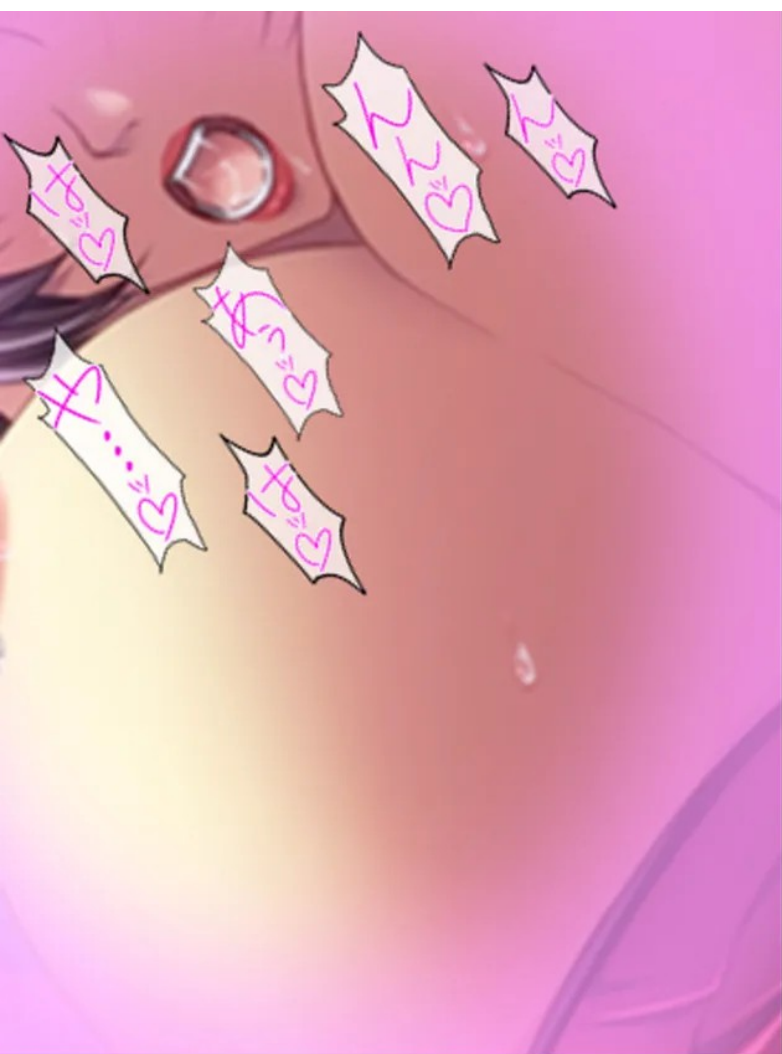
今まで味わった事  
ない快樂があ!



なだれ込んで  
キちゃうううう!





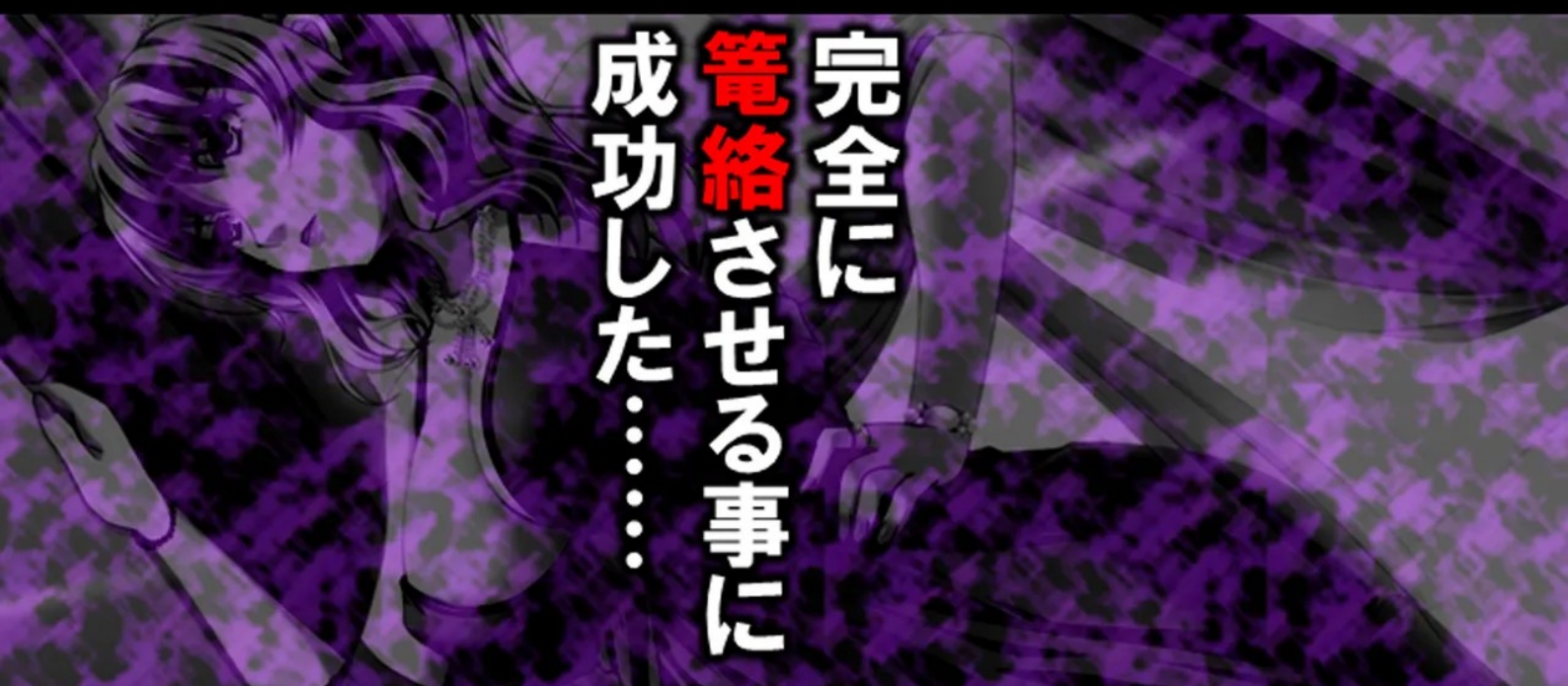


続<



- 最終話 -  
「結婚式」





…それから

ただの作業で  
しかなかった…

京子


俺がなぜ  
捨てられたか

詳細を  
知っているか？

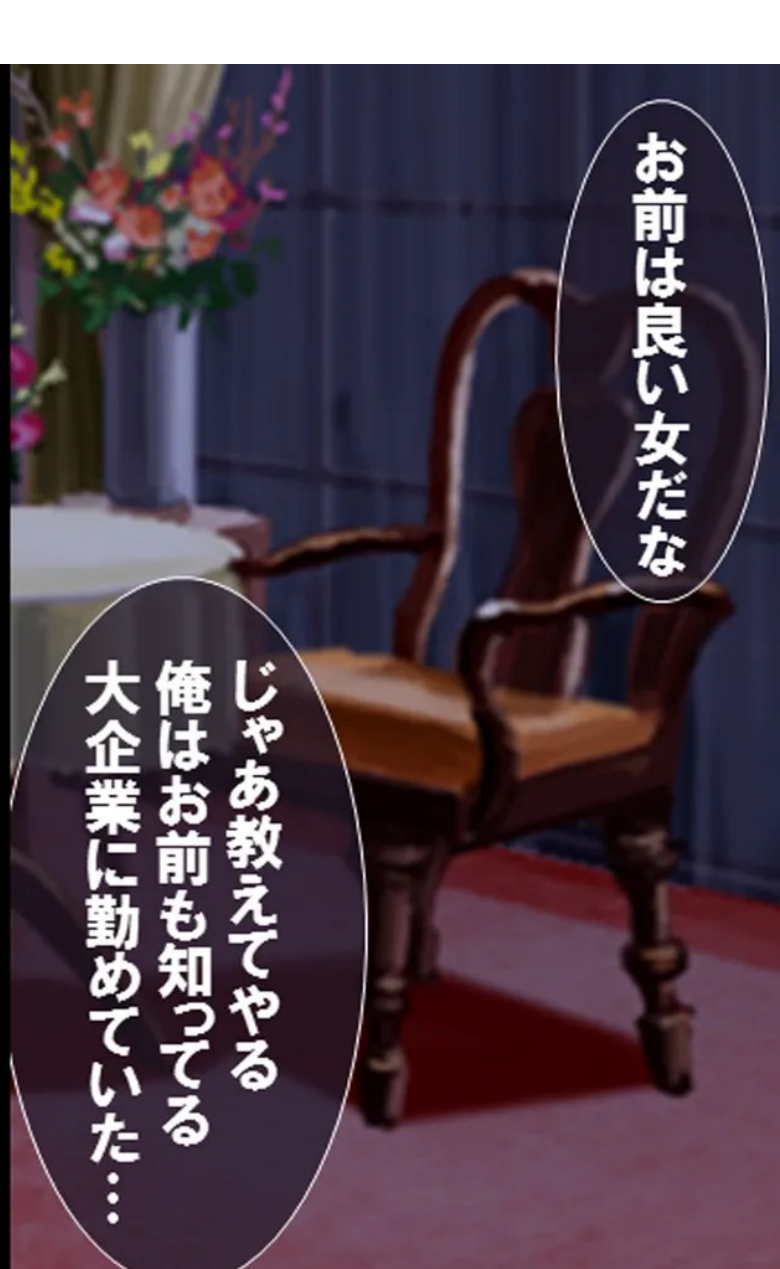
ごめんなさい…

貴方の気に障ると  
思っ…

聞かないように  
していたの…



そして  
俺は京子に  
事情を  
説明し――



お前は良い女だな

じゃあ教えてやる  
俺はお前も知ってる  
大企業に勤めていた……

復讐したいと

ただ

一言呟いた……



滝川の方から

そこからは  
一足飛びのよう  
に  
事が運び――

関連企業に  
圧力をかけ……

契約が切られ…  
完全に  
会社として孤立

呆気なく  
立ち  
行かなくなり

数ヶ月で  
倒産した——

復讐が  
完遂され  
間もなくして  
俺は……

滝川京子と  
結婚した

有難う 京子……

おかげで復讐が  
完遂出来た

チュフ、チュフ  
ヌチュ、ヌチュ

今度はこの俺が  
お前との約束を  
果たす番という訳だ

あ……  
……  
ん……  
……  
は……



復讐が  
完遂出来たら

結婚する  
という約束を果たす

ちゅ

ちゅ

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ



晴れてお前は  
俺のモノになるんだ

だからもう……

あの乳首ピアスは  
もう外させて貰った

は……

ん……

ん……

ん……

代わりに  
この媚薬効果のある  
酒を飲ませてやる

じゅる  
じゅる  
じゅる  
じゅる

頭がぼーっと  
してくるだろう？

次第に全身が  
性感帯になってくる

ピク!!!

ピク!!!

ピク!!!

ピク!!!

乳首は触られるだけで  
軽く絶頂し――

ぴく...  
ぴく...

ぴく...  
ぴく...

陰核の感度も  
通常の十倍にも  
なる……

ズチュ  
ヌチュ

ズチュ  
ヌチュ

ニチュ  
ズチュ

バクッ  
バクッ

バクッ

バクッ

バクッ

バクッ

バクッ

バクッ



ハハッ!

早速効果が  
出てきたじゃあないか

バクッ

バクッ

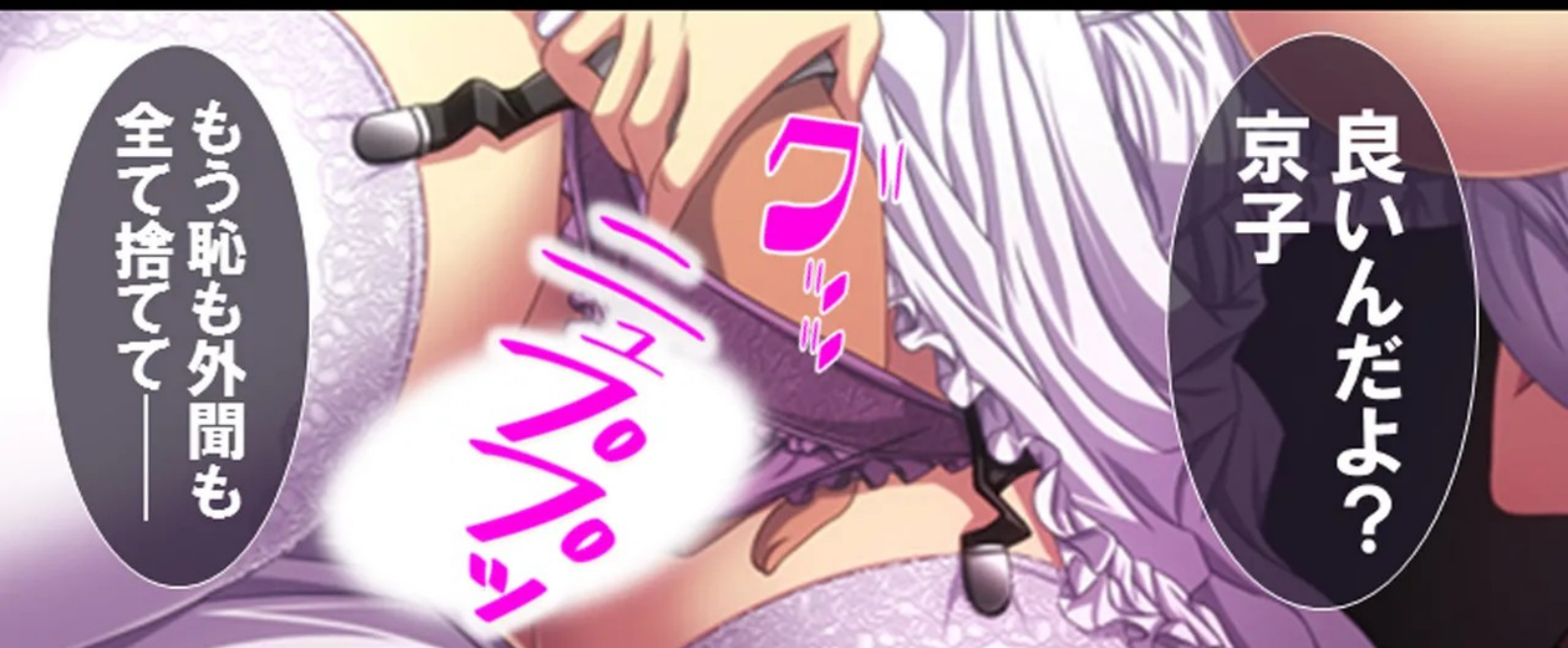
バクッ

ギョ...

バクッ

バクッ

バクッ



良いんだよ?  
京子

もう恥も外間も  
全て捨てて――

バクッ



指に  
吸い付いてくる

よっほど  
気持ち良かったんだな

ジュ…  
ジュ…  
ジュ…

はあああああ  
あッ…ああ…

まだ披露宴には  
時間がある…

一発又いてから  
出向くとしてよう

下品すぎるぞっ…  
京子

披露宴が  
始まる頃には  
いつもの女王様に…

あああああ…  
大きいのお…  
ちよづらっつっつ…





あああああ…  
最高…

このオチ●ポ…  
最高しゅぎるう

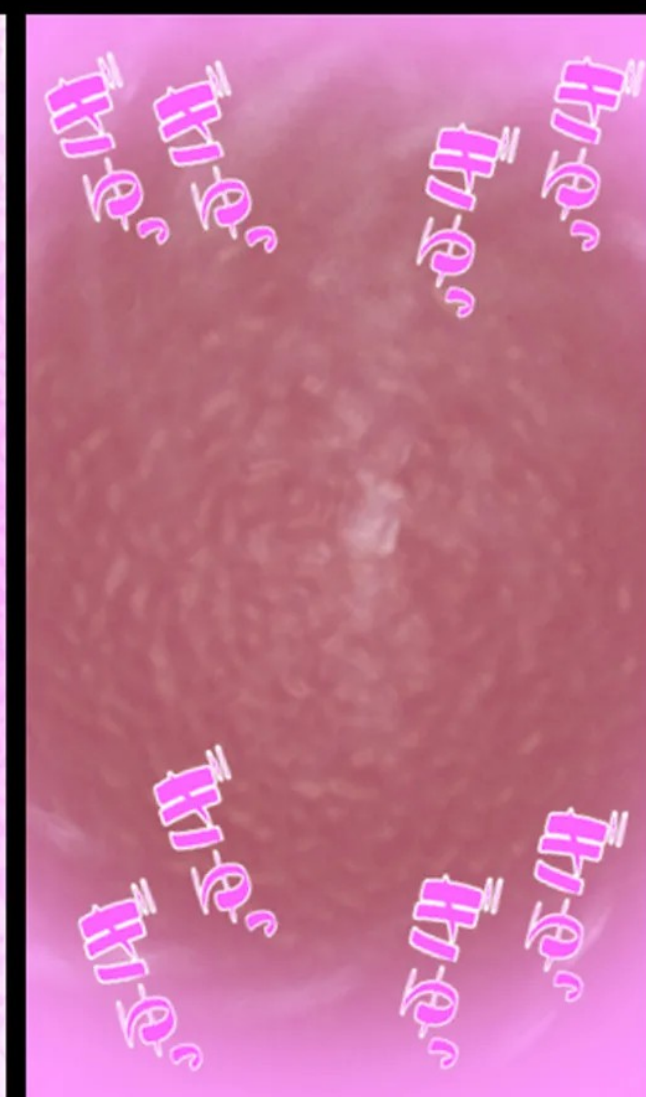
おっ…  
ぐあああ…

こりや凄いな

グチュ  
ニユ  
グチュ



…なかつたぞ?



Hi-e  
Hi-e  
Hi-e  
Hi-e  
Hi-e  
Hi-e  
Hi-e  
Hi-e



こんなに  
吸い付いてくる  
マ●コは今まで—

ニユ  
ニユ  
ニユ

ニユ  
ニユ  
ニユ



頑張ら  
なきやな!



ここまで精子を  
吸い取るうとして  
くると俺も……



あああああ!  
ゴゴゴゴゴゴ  
ゴゴゴゴゴゴ





子宮に…  
ちやうどいいい！



貴方の精子

ちやうどいいい…



俺の子種を  
待つ姿は犬畜生と  
何も変わらないな

グサッ  
グサッ

グサッ



ハハッ！

ド淫乱に  
育ててくれたものだ

ズチュズチュ  
グチュグチュ





あはああん！

きたああ！

イクイク！

いつちやうう！



イケ！

ズチュ

イケ！

ズチュ

イケ！

ズチュ

イケ！

ズチュ

イケ！

ズチュ



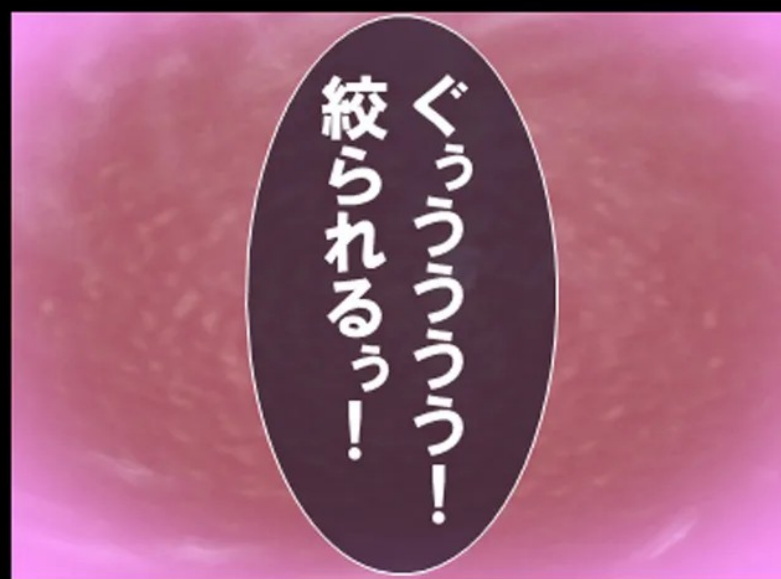
ズ

パン！

イケエエツ！









精子のマーキングだ

喜んでくれるね？  
京子 ♡

もちろんよお…  
あ・な・た ♡

完

読みきり傑作集

# あまからや

著者：あまからや



**ご購入、ありがとうございました**